

令和 6 年度 市民アンケート 調査結果報告書

令和7年 3 月

■調査の方法及び概要

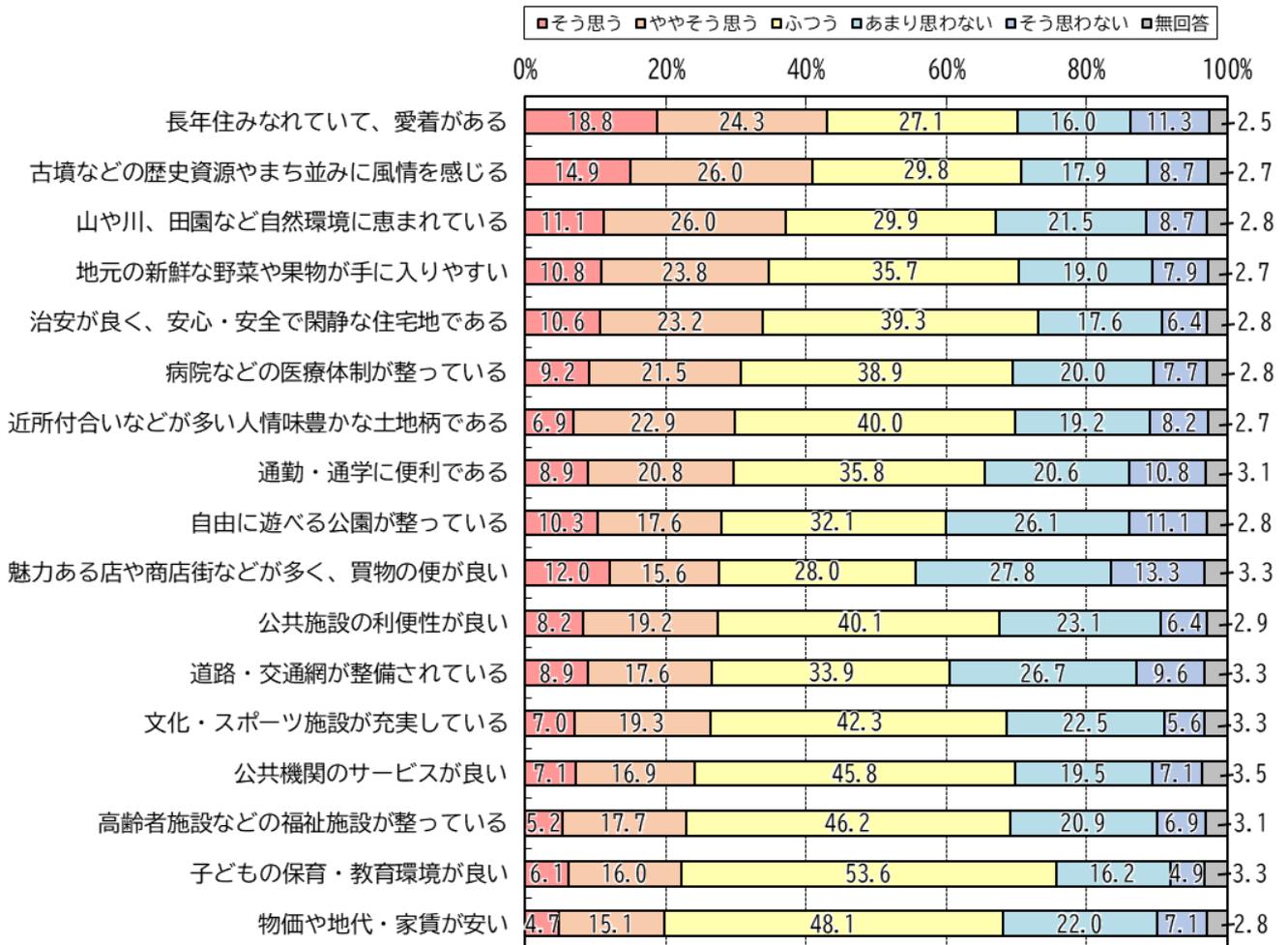
- ・対 象:無作為に抽出した 18 歳以上の市民 3,000 人
- ・調査方法:郵便による発送・回収
- ・調査時期:令和6(2024)年 10 月
- ・回収状況:885 票(回収率 29.5%)
(前回調査:平成 26(2014)年 10 月実施 回収率 41.8%)

■報告書の見方

- ・ 集計結果の%表示は、小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、内訳の合計が 100%にならない場合があります。
- ・ 設問ごとの年齢別や地区別の集計は、無回答を排除しているため、有効回答数の合計が、全体の有効回答数と合致しないことがあります。
- ・ 10 歳代の回答は 8 人のため、本報告書では参考としています。

問1 あなたは、現在の羽曳野市の「住みごち」について、どのように感じておられますか。(1つに○)

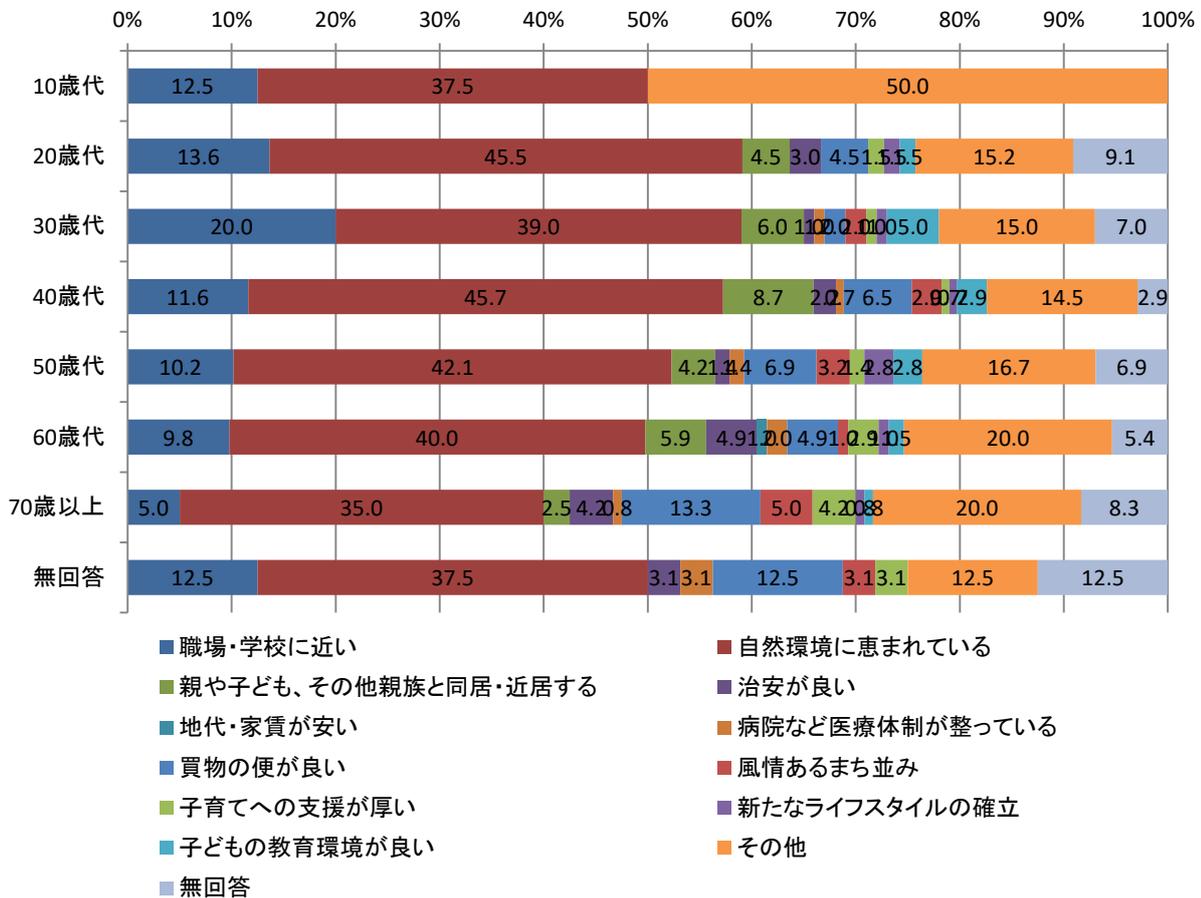
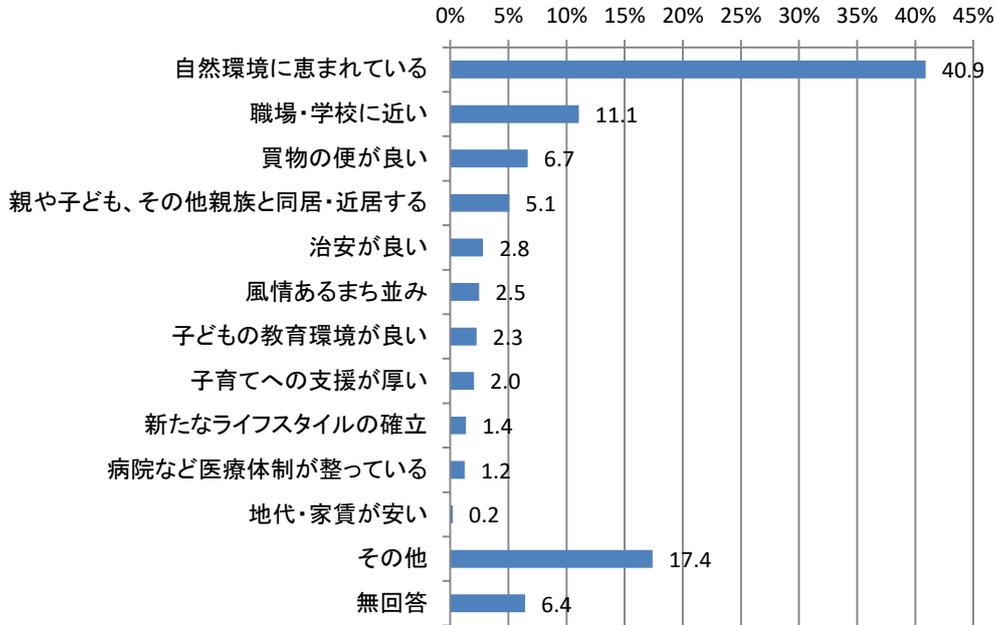
- ・「長年住みなれていて、愛着がある」や「古墳などの歴史資源やまち並みに風情を感じる」、「山や川、田園など自然環境に恵まれている」が高評価の上位3項目となっています。
- ・一方、「魅力ある店や商店街が多く、買物の便が良い」、「自由に遊べる公園が整っている」、「道路・交通網が整備されている」が低評価の上位3項目となっています。前回調査と比較すると、「道路・交通網が整備されている」の評価が特に低下しています。



問2 あなたが羽曳野市を居住地として選んだ最も大きな理由は何ですか。

(1つに〇)

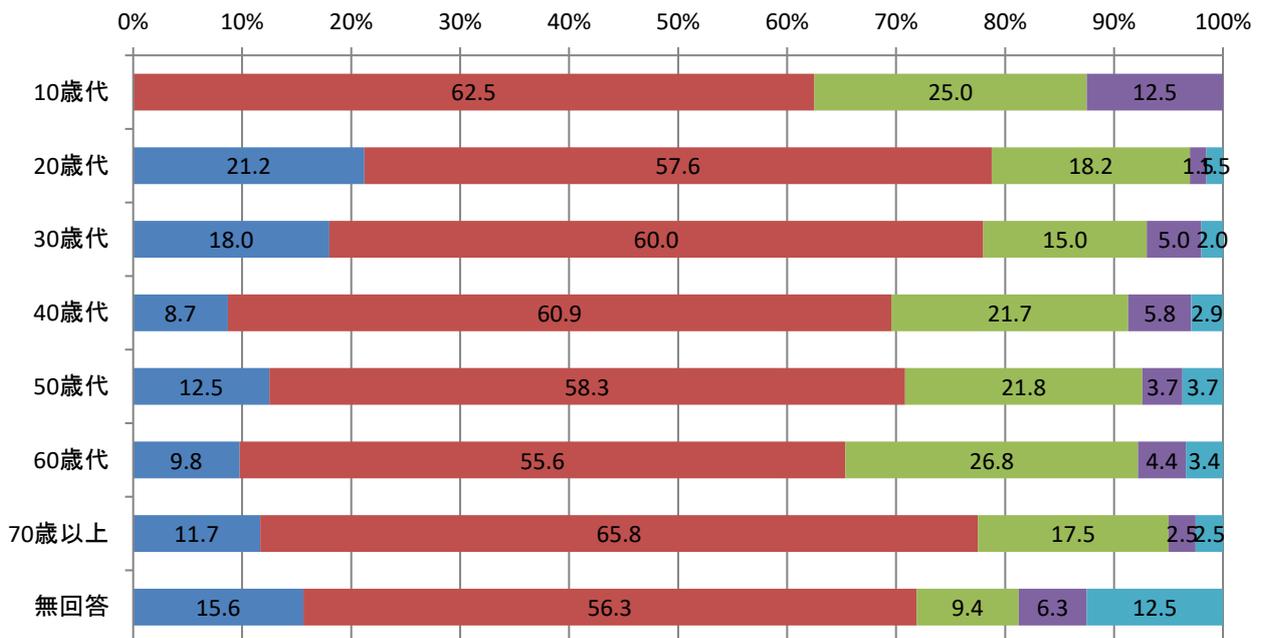
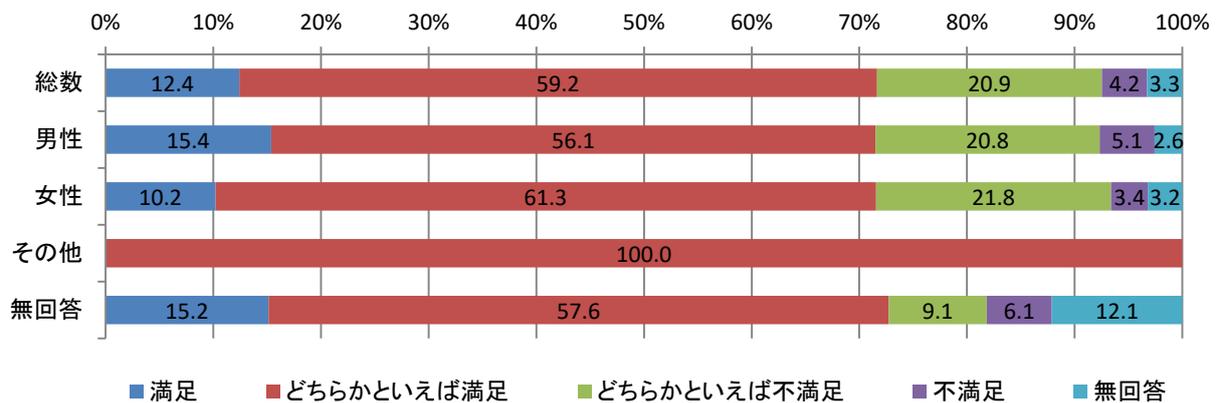
・「自然環境に恵まれている」が40.9%と突出して多く、おおむね各年代でも多くなっています。



問3 あなたは羽曳野市にお住まいになり満足されていますか。

(1つに〇)

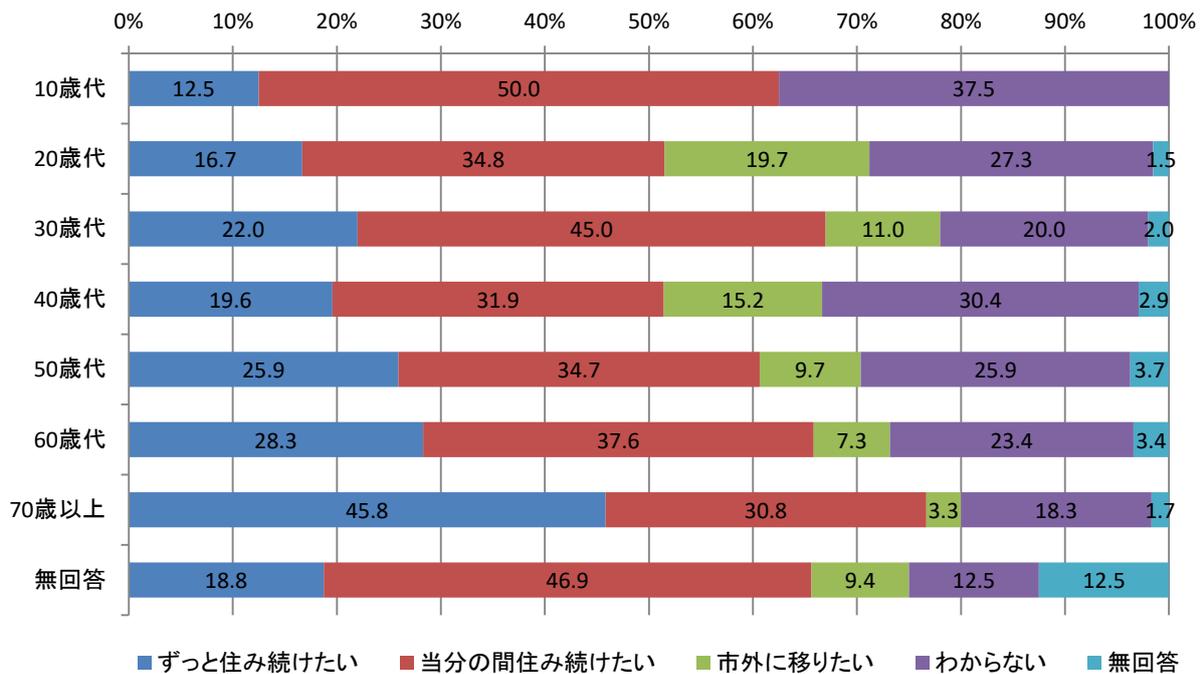
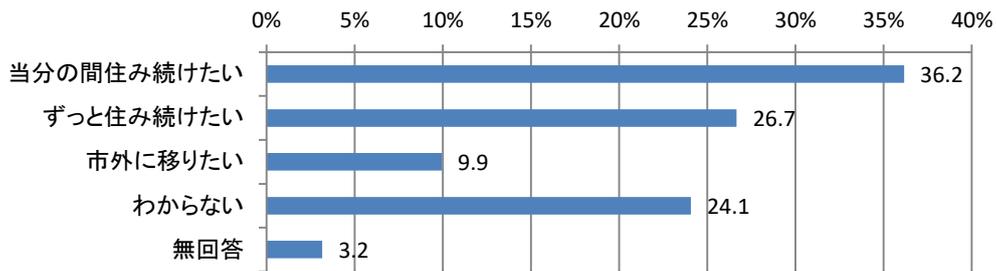
- ・「どちらかといえば満足」が 59.2%と最も多く、次いで「満足」が 12.4%とこれらをあわせた満足度が約7割を占めています。
- ・20歳代、30歳代、70歳以上の満足度が比較的多くなっています。



問4 あなたは今後も羽曳野市に住み続けたいですか。

(1つに〇)

- ・「ずっと住み続けたい」が 26.7%(前回 36.2%)、「当分の間住み続けたい」が 36.2%(前回 31.2%)となっており、これらをあわせた定住意向は 62.9%で前回調査の 67.4%を4.5 ポイント下回っています。
- ・「市外に移りたい」は 9.9%(前回8.0%)とわずかに増加しています。
- ・年齢が上がるにつれて、住み続けたいの割合が増える傾向にあります。



前回調査との比較(市民アンケート)

設問項目	令和元年11月	令和6年9月	変化
今後の居住意向			
ずっと住み続けたい	36.2%	26.7%	-9.5%
当分の間住み続けたい	31.2%	36.2%	5.0%
市外に移りたい	8.0%	9.9%	1.9%

問 5 問4の1～3に○をつけた方はその理由をご記入ください。

《意見の要約》

1. ずっと住み続けたい

- ・交通の便がよく、通勤や買い物などの日常の移動がしやすいです。
- ・スーパーやお店が近く、生活に必要なものがすぐに手に入る点が便利です。
- ・騒がしくなく静かで、落ち着いて暮らせる環境が気に入っています。
- ・治安がよく、安心して暮らせる地域であることに満足しています。
- ・生まれ育った土地であり、慣れ親しんだ場所で生活する安心感があります。
- ・昔からの知り合いや友人が近くにいる、つながりを感じながら暮らせます。
- ・自然が豊かで、四季を感じながらリラックスできる環境が整っています。
- ・家族や親戚が近くにいる、支え合いながら生活できるのが心強いです。
- ・地域の人が親切で、温かみのある人間関係が築けていると感じます。
- ・自分の家であることに愛着があり、落ち着いて暮らせることがうれしいです。
- ・地域の雰囲気が好きで、長く住み続けたいと自然に思える場所です。

2. 当分の間住み続けたい

- ・今の住まいに大きな不満がなく、快適に生活できているためこのまま住み続けたいです。
- ・持ち家であることから、転居の予定がなく長く住むことを前提に生活しています。
- ・親や家族と一緒に暮らしており、同居の必要があるため転居の予定はありません。
- ・高齢の親の介護があり、現在の住まいが利便性や生活面でちょうど良いと感じています。
- ・賃貸住宅であっても、立地や環境などの条件が自分に合っていると感じています。
- ・動物を飼っているため、住環境を変えるのが難しく、今の場所にとどまる予定です。
- ・これまでの生活スタイルが確立されており、変化を望まず落ち着いた暮らしを続けたいです。
- ・子どもの学校や通勤の都合上、現在の地域での生活が最も都合が良いです。
- ・周囲の人間関係や地域環境に満足していて、引っ越す理由が特に見当たりません。
- ・このまま今の生活を維持したいと考えており、将来にわたっても住み続けたいと思っています。

3. 市外に移りたい

- ・駅やバス停が遠く、交通手段が限られていて不便に感じています。
- ・電車やバスの本数が少なく、移動に時間がかかることが多いです。
- ・車がないと生活が難しく、公共交通機関の整備を望んでいます。
- ・交通渋滞やアクセスの悪さから、別の場所への移住を考えるようになりました。
- ・深夜の騒音や暴走族の走行音など、治安に対する不安があります。
- ・災害対策や避難場所の整備が不十分で、万が一の時に不安を感じます。
- ・日常生活に必要な施設やサービスが少なく、生活に不便を感じています。
- ・自然環境は良いが、カラスやコウモリなどの被害に困っています。
- ・仕事や学校への通勤・通学が不便で、もっとアクセスの良い場所に移りたいです。

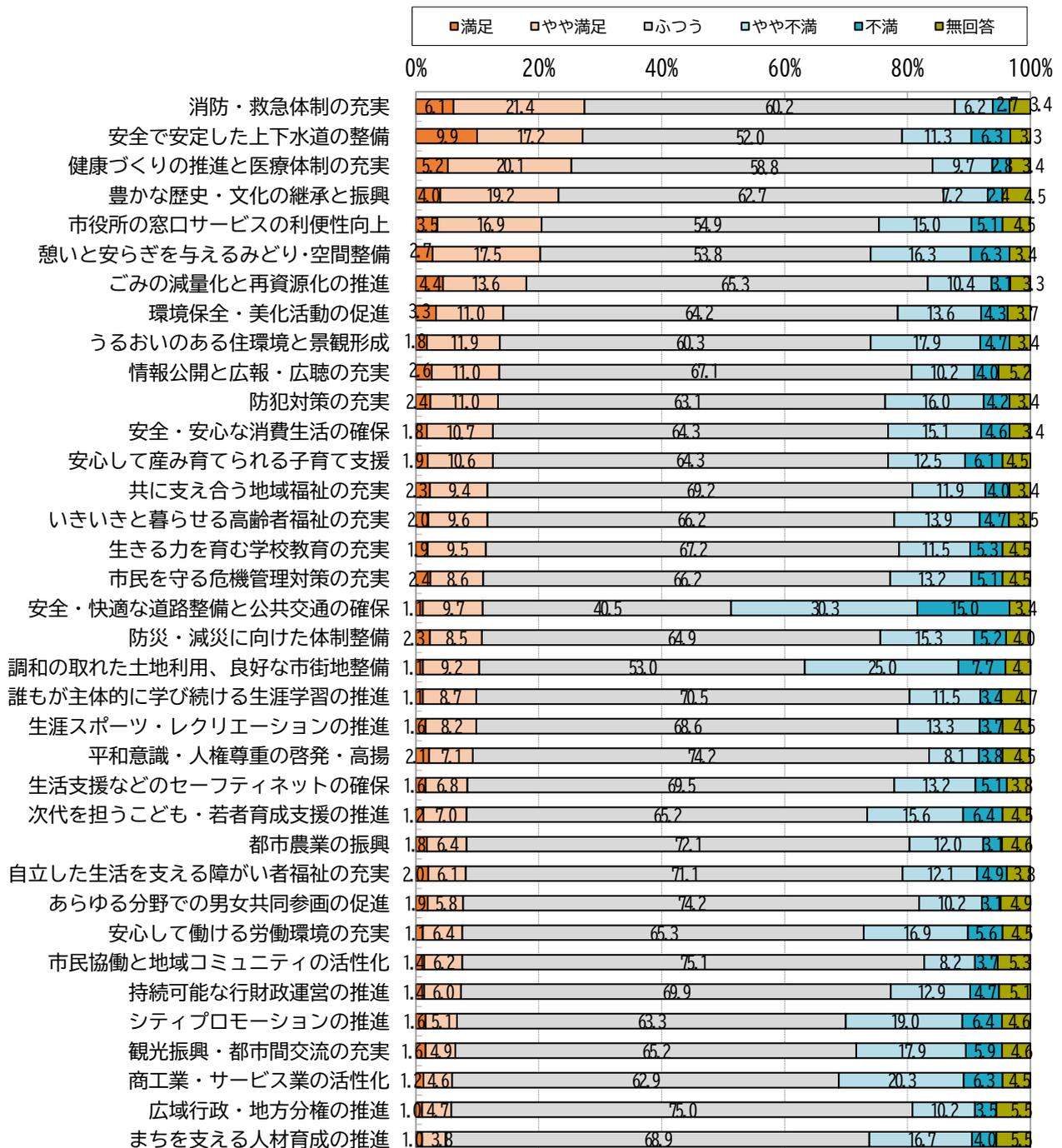
- ・買い物が不便で、近くにスーパーや生活用品を買える場所が少ないです。
- ・医療施設が遠かったり、数が限られていて将来的に不安があります。
- ・高齢になった時の生活を考えると、今の場所では不安があります。
- ・子どもが成長したときに通いやすい学校や環境が整った場所に引っ越したいです。
- ・安全面や生活面での利便性を求めて、別の地域への転出を検討しています。
- ・地域の活動範囲や生活圏とのズレを感じ、より生活の中心に近い場所に住みたいです。
- ・ごみ処理や町内の整備が十分でなく、快適な生活を求めて引っ越しを考えています。
- ・子育てや福祉の面でサポート体制が整った地域に移りたいと感じています。

問6 あなたはこれまでの羽曳野市におけるまちづくりについて、どの程度満足されていますか。また、これからどのようなまちづくりが重要だとお考えですか。

(それぞれ1つに○)

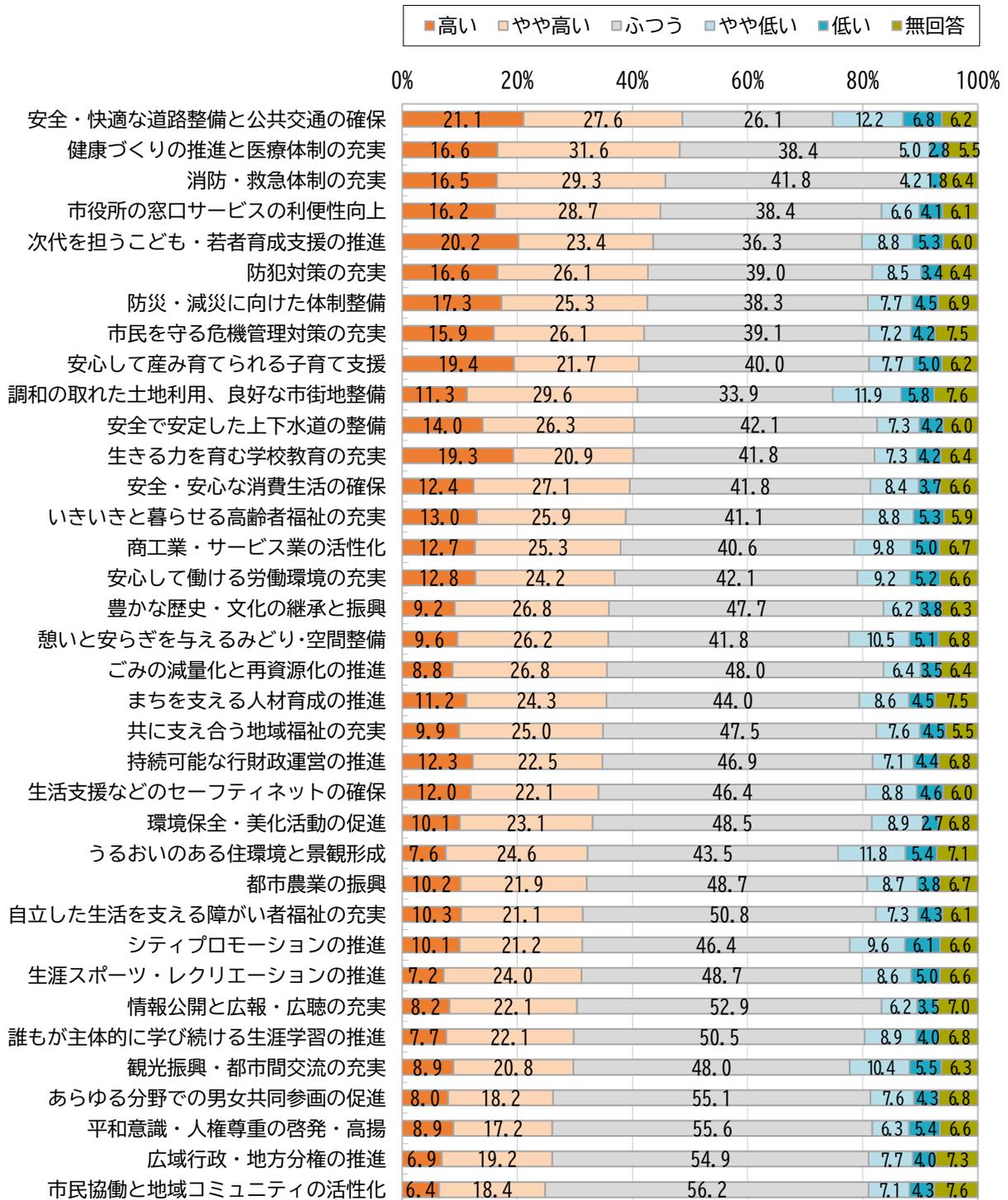
【満足度】

- ・「消防・救急体制の充実」、「安全で安定した上下水道の整備」、「健康づくりの推進と医療体制の充実」が満足度(満足・やや満足)の上位3項目となっています。
- ・一方、「安全・快適な道路整備と公共交通の確保」、「調和の取れた土地利用、良好な市街地整備」、「商工業・サービス業の活性化」が不満度(やや不満・不満)の上位3項目となっています。

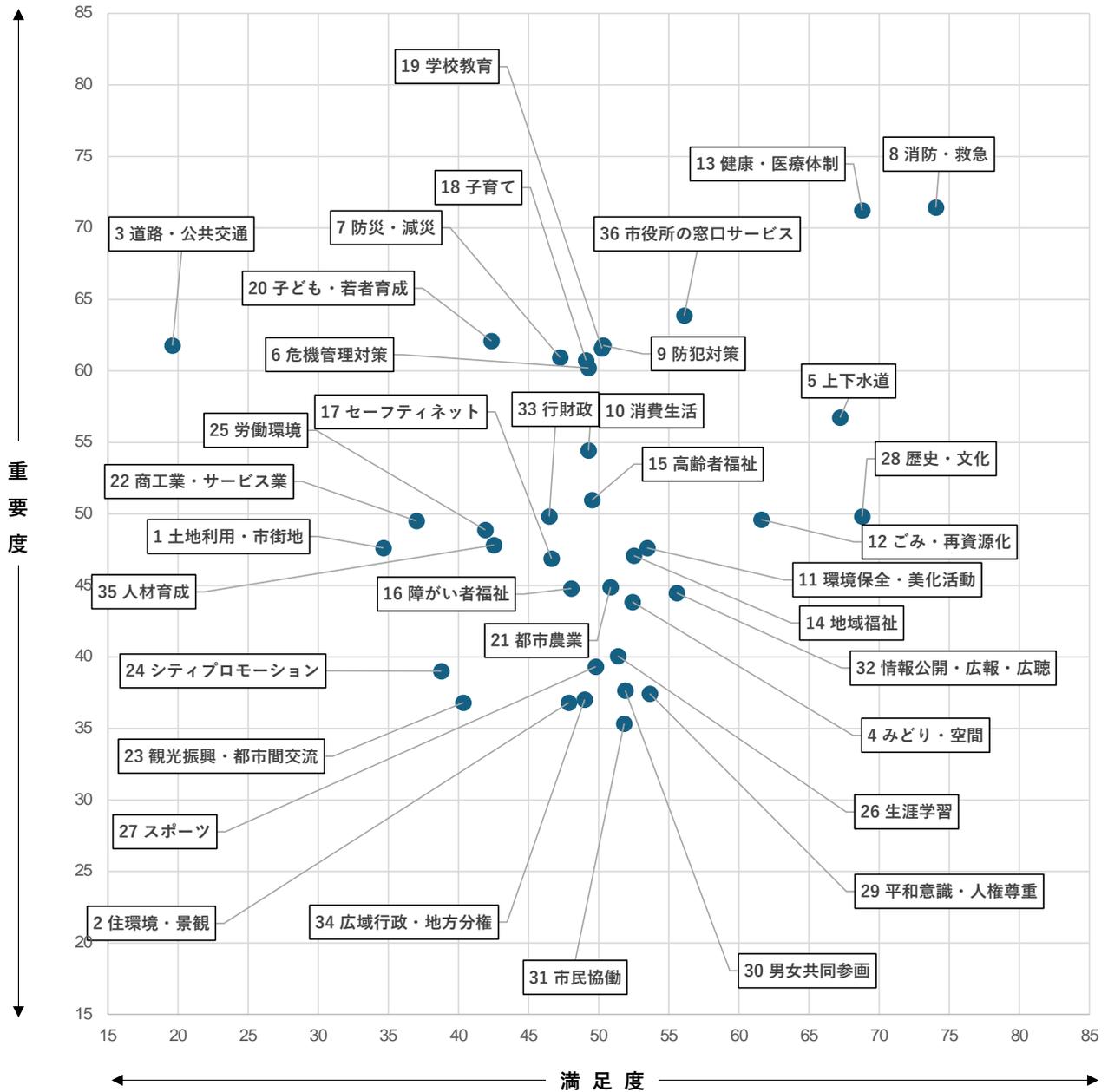


【重要度】

・「安全・快適な道路整備と公共交通の確保」、「健康づくりの推進と医療体制の充実」、「消防・救急体制の充実」、「市役所の窓口サービスの利便性向上」の重要度が特に高くなっています。



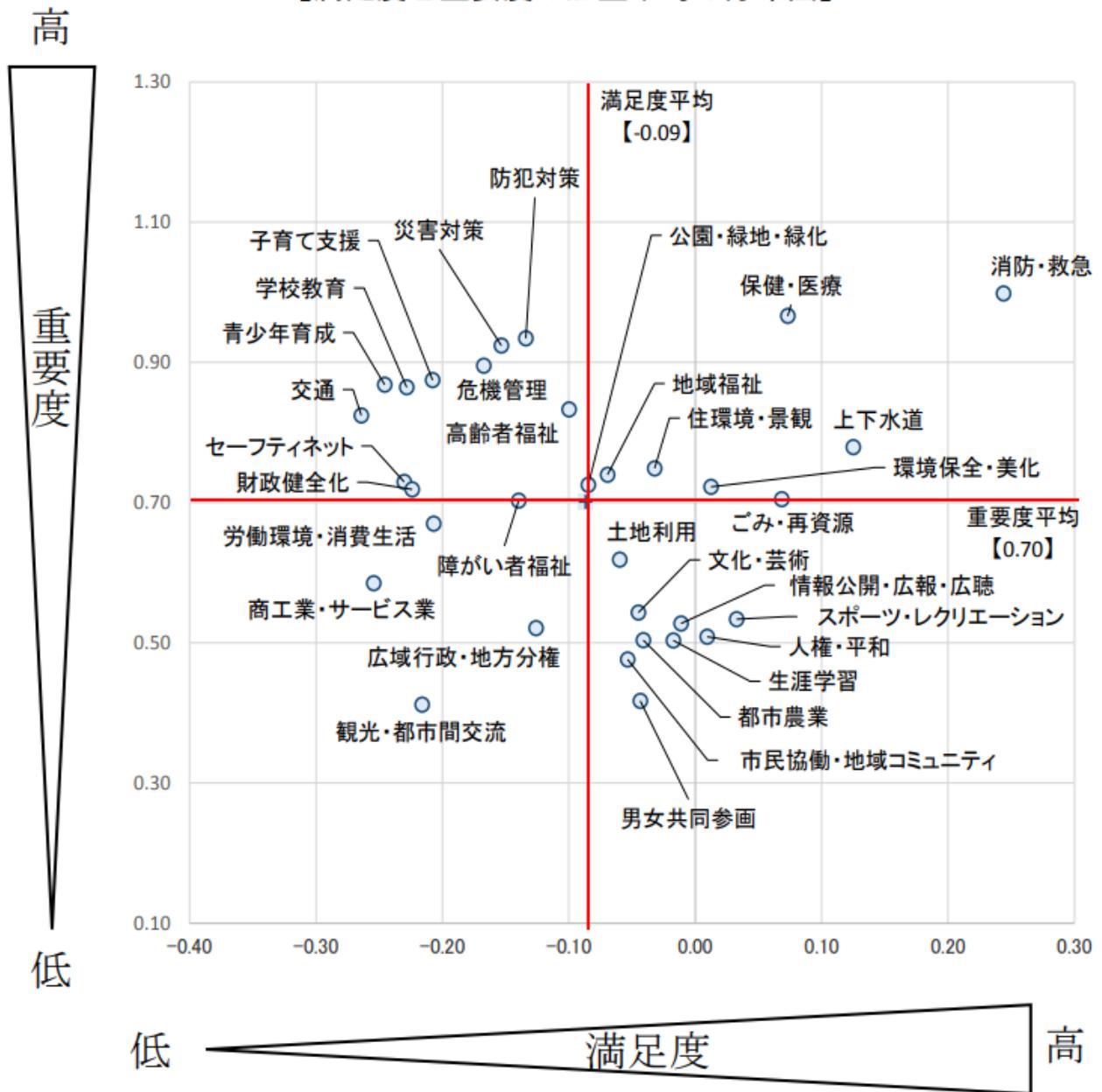
■満足度×重要度



※以下の点数で合計値を計算し、その後偏差値化
 【満足度】満足:5点、やや満足:4点、ふつう:3点、やや不満:2点、不満:1点
 【重要度】高い:5点、やや高い:4点、ふつう:3点、やや低い:2点、低い:1点

(前回調査時の各施策における満足度および重要度)

【満足度と重要度の加重平均の分布図】



全体的な傾向としては、前回調査時から大きな変化は見られません。

交通の満足度は前回調査時から低い傾向にありましたが、今回の調査において公共交通に関する満足度は他施策と比較して飛びぬけて低い値となっています。

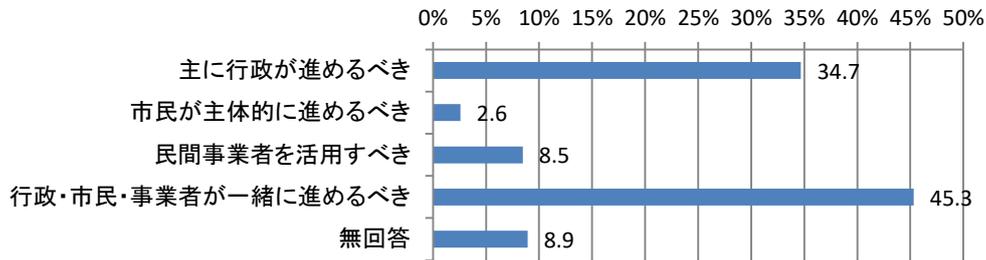
問7 今後10年間のまちづくりで、あなたが重要だと思う番号を3つ選び、そのまちづくりを進めるうえでの行政・市民・民間事業者の関わり方について望ましいと思うものを1つ選んでください。

【重要なまちづくり】

・「安全安心で快適に移動できるまち」が 39.7%と最も多くなっています。次いで、「住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるまち」が 27.7%、「地域全体で笑顔あふれる子どもを育むまち」が 21.4%となっています。これらは前回調査と同様に高位にあります。



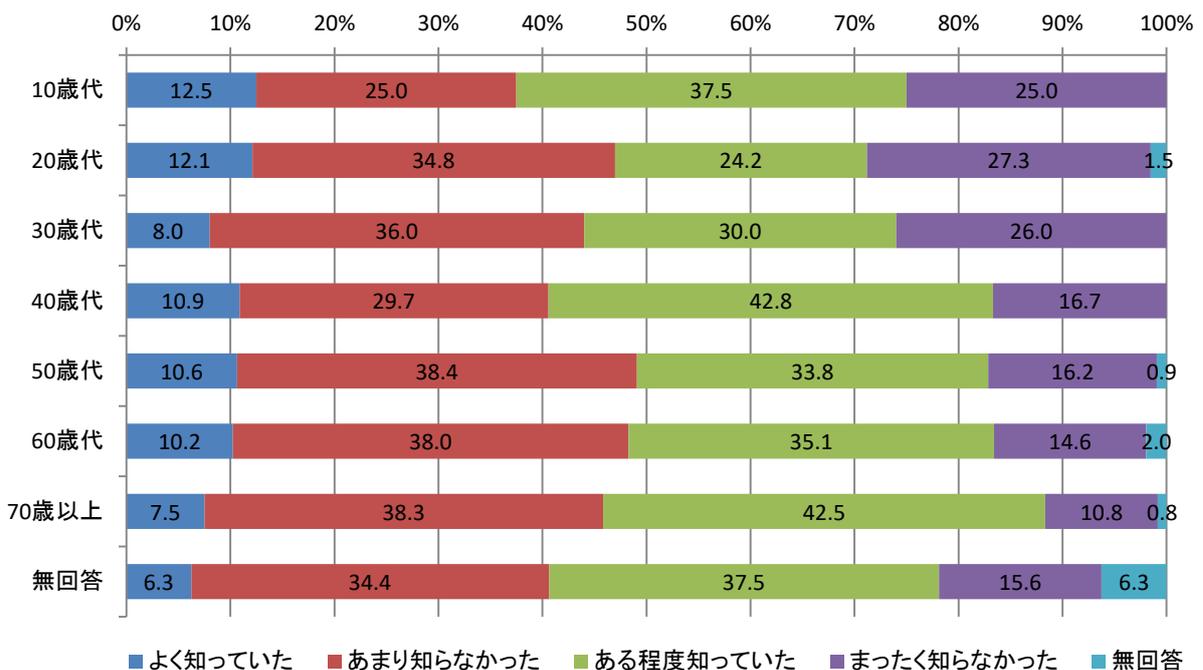
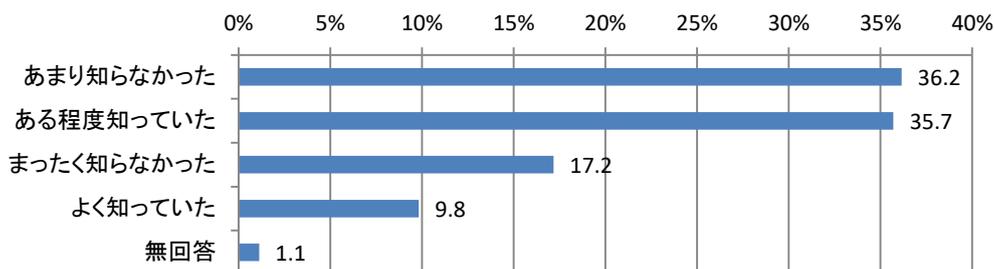
・重要なまちづくりの担い手・進め方は、「行政・市民・事業者が一緒に進めるべき」が 45.3%と最も多く、次いで「主に行政が進めるべき」が 34.7%となっています。



問8 羽曳野市の人口が減少していることや、人口減少がまちづくりに影響を及ぼしていることを知っていましたか。(1つに○)

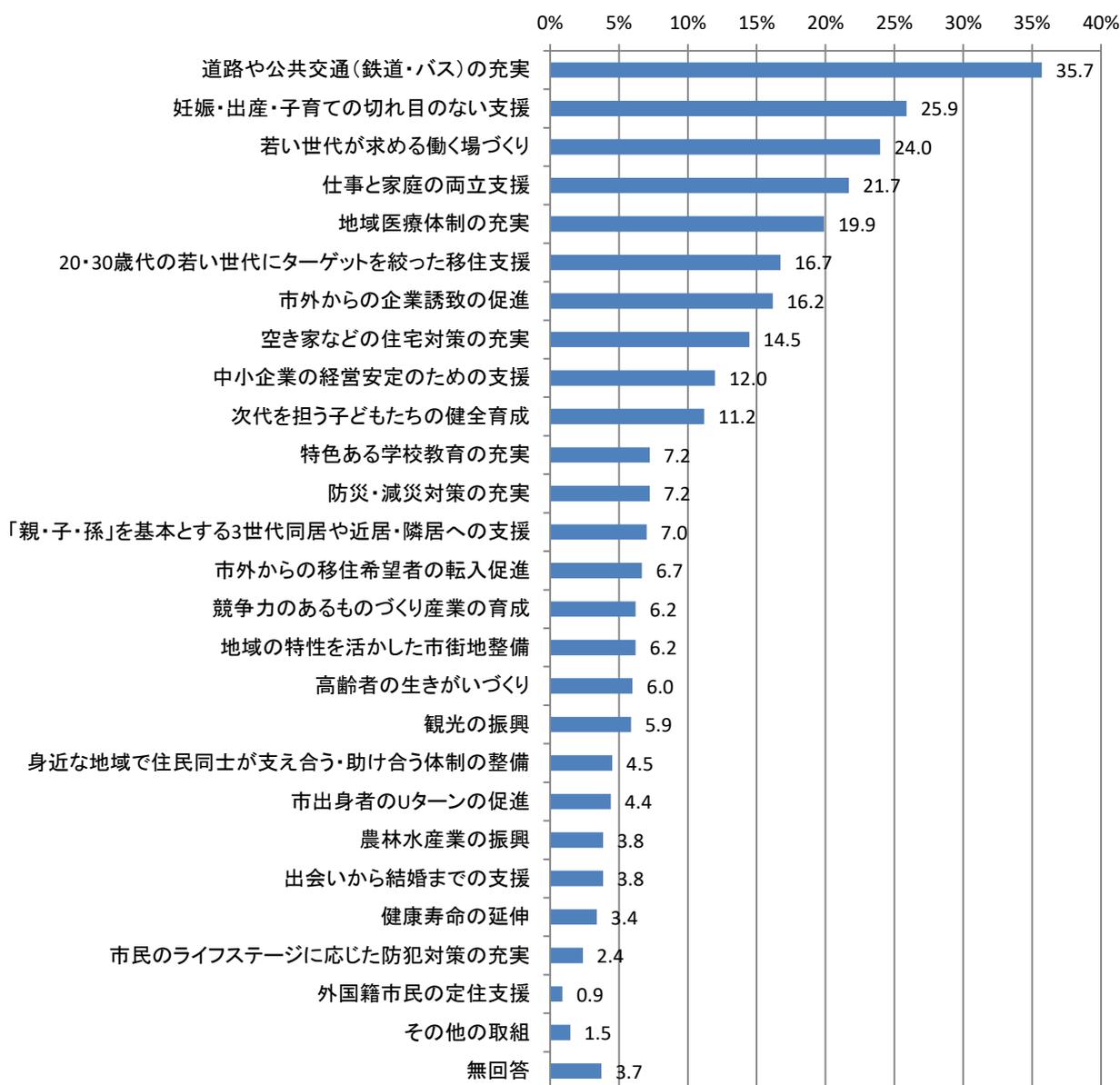
・「あまり知らなかった」と「まったく知らなかった」をあわせた“知らなかった”は 53.4%、「よく知っていた」と「ある程度知っていた」をあわせた“知っていた”は 45.5%で、“知らなかった”がわずかに上回っています。

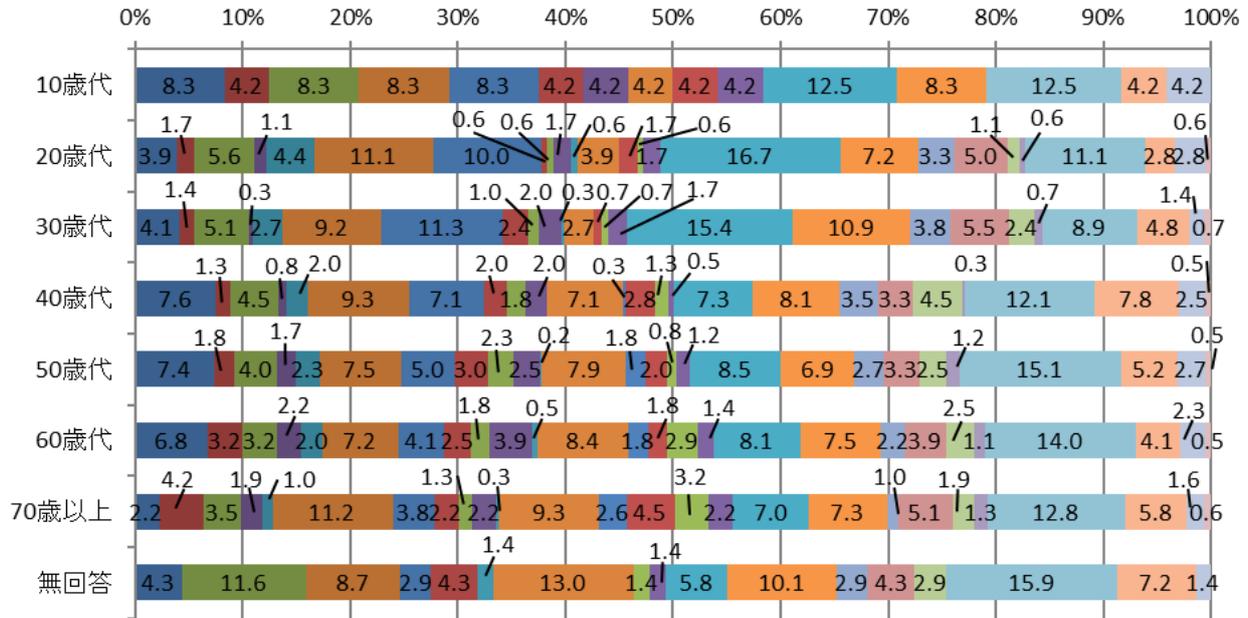
・“知っていた”は、40 歳代、70 歳代以上で多くなっています。



問9 人口が減少する中で、まちの活性化に向けて、具体的にどのような取り組みが必要だと思いますか。(最も重要だと思うもの3つ以内に○)

- ・「道路や公共交通(鉄道・バス)の充実」が35.7%と最も多く、次いで「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」が25.9%、「若い世代が求める働く場づくり」が24.0%、「仕事と家庭の両立支援」が21.7%となっています。
- ・「道路や公共交通(鉄道・バス)の充実」は40歳代以上、「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」は20歳代、30歳代で多く、「若い世代が求める働く場づくり」は20歳代、30歳代、70歳代以上、「仕事と家庭の両立支援」は30歳代が比較的多くなっています。

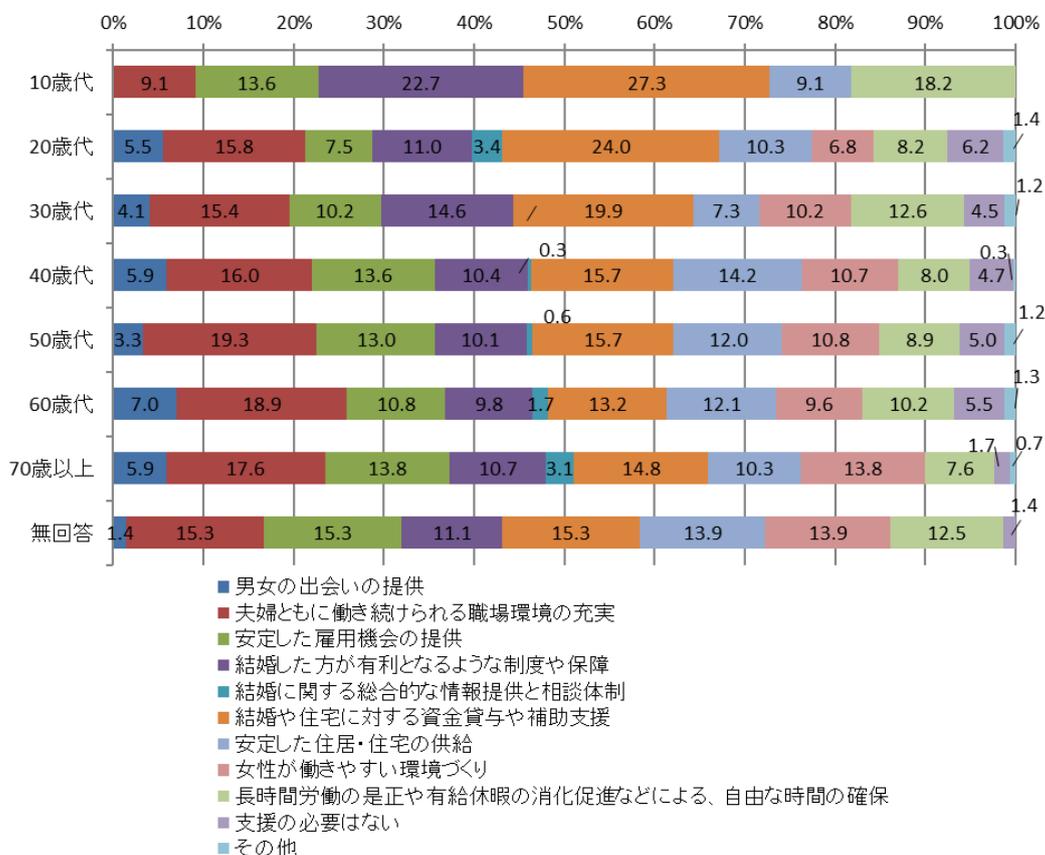
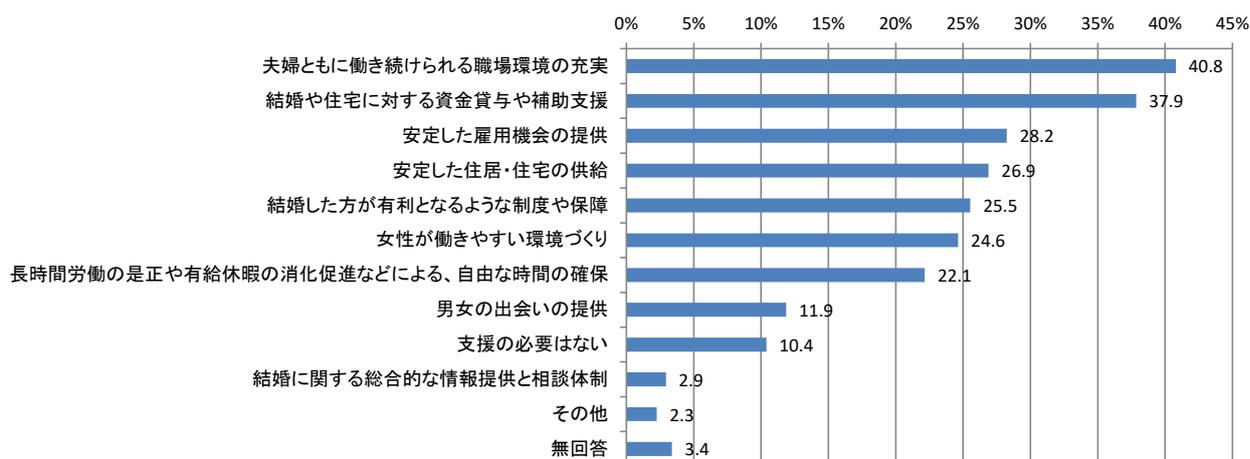




- 市外からの企業誘致の促進
- 競争力のあるものづくり産業の育成
- 中小企業の経営安定のための支援
- 農林水産業の振興
- 観光の振興
- 若い世代が求める働く場づくり
- 20・30歳代の若い世代にターゲットを絞った移住支援
- 市外からの移住希望者の転入促進
- 市出身者のUターンの促進
- 「親・子・孫」を基本とする3世代同居や近居・隣居への支援
- 外国籍市民の定住支援
- 地域医療体制の充実
- 健康寿命の延伸
- 高齢者の生きがいづくり
- 身近な地域で住民同士が支え合う・助け合う体制の整備
- 出会いから結婚までの支援
- 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- 仕事と家庭の両立支援
- 特色ある学校教育の充実
- 次代を担う子どもたちの健全育成
- 防災・減災対策の充実
- 市民のライフステージに応じた防犯対策の充実
- 道路や公共交通(鉄道・バス)の充実
- 空き家などの住宅対策の充実
- 地域の特性を活かした市街地整備
- その他の取組

問 10 結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるためには、どのような行政の支援が効果的だと思いますか。(3つ以内に○)

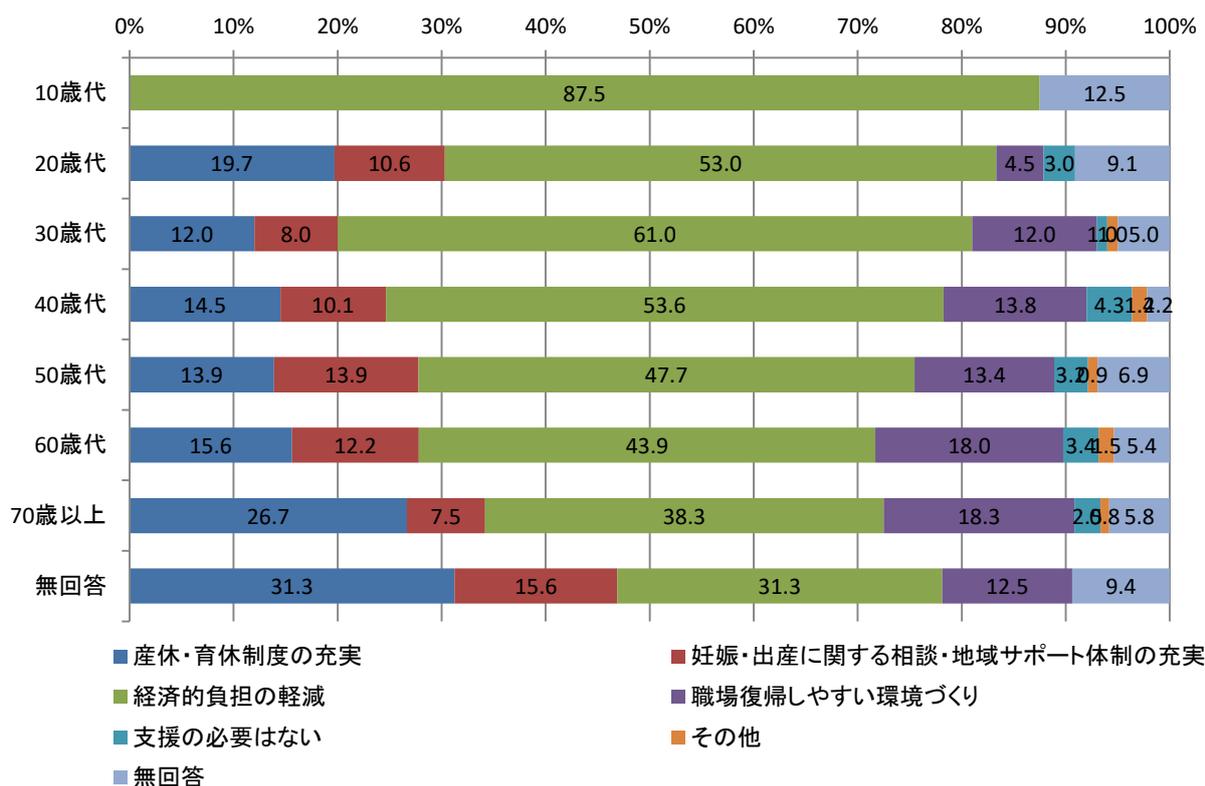
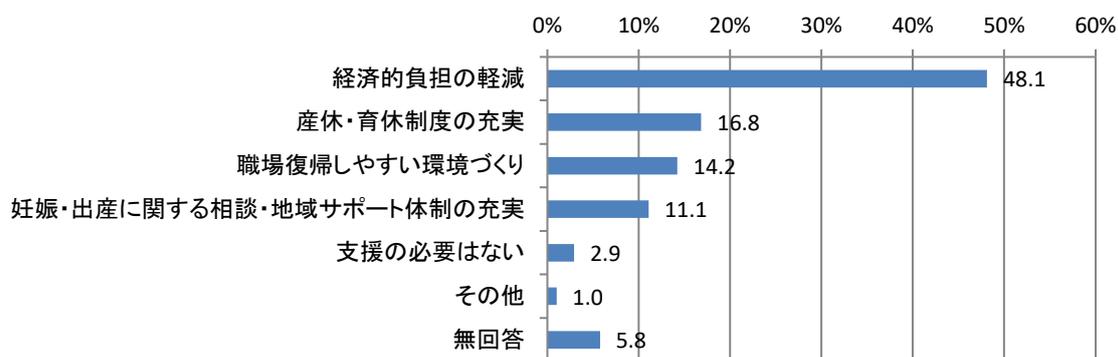
- ・「夫婦ともに働き続けられる職場環境の充実」が 40.8%(前回 54.0%)、「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」が 37.9%(前回調査 41.9%)と特に多くなっています。次いで、「安定した雇用機会の提供」、「安定した住居・住宅の供給」、「結婚した方が有利となるような制度や保障」、「女性が働きやすい環境づくり」が同程度で多くなっています。
- ・「夫婦ともに働き続けられる職場環境の充実」は 50 歳代以上、「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」は 20 歳代、30 歳代で多くなっています。



問 11 出産しやすい環境をつくるためには、どのような行政の支援が効果的だと思いますか。

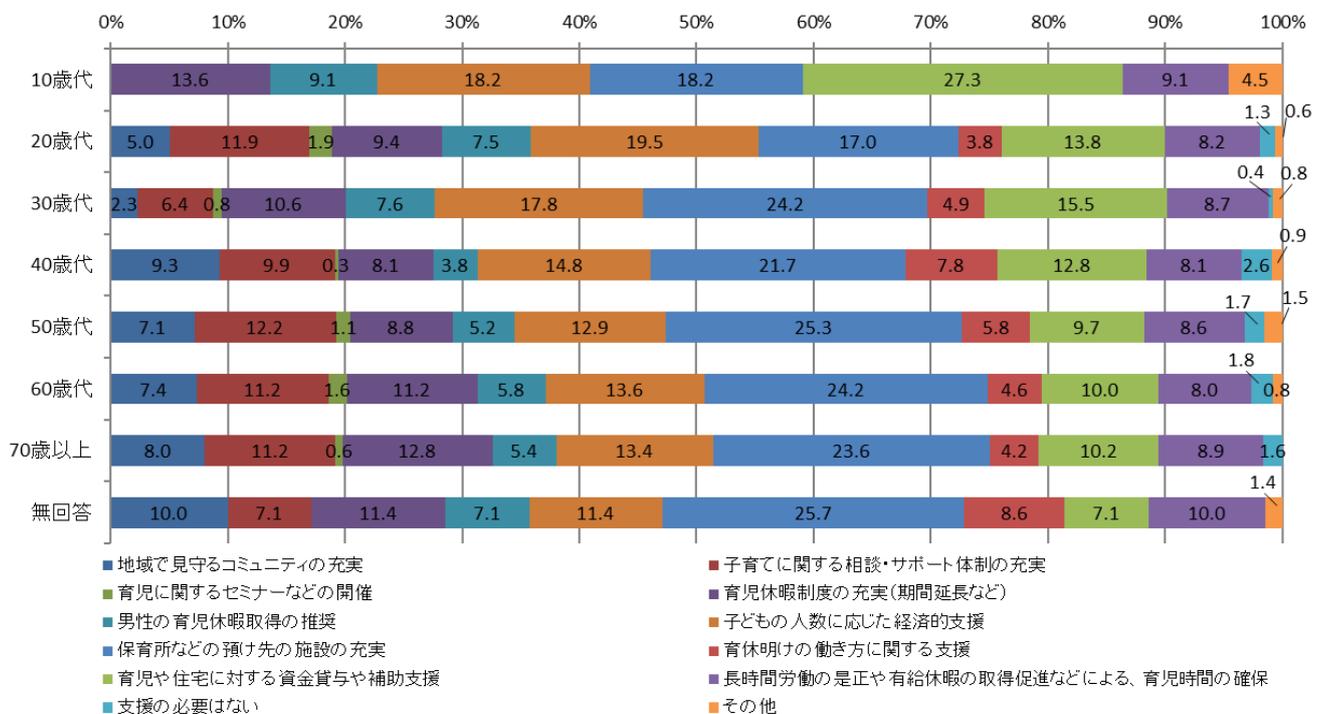
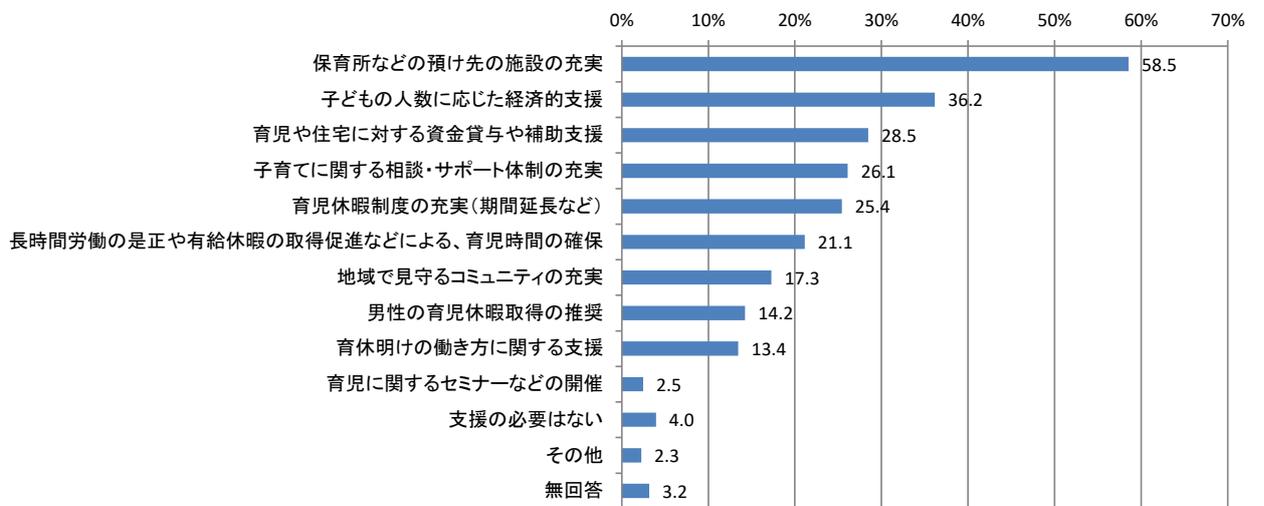
・「経済的負担の軽減」が 48.1%(前回調査 57.3%)と突出して多くなっています。次いで「産休・育休制度の充実」が 16.8%(前回調査 25.0%)、「職場復帰しやすい環境づくり」が 14.2%(前回 21.8%)となっています。

・「経済的負担の軽減」は 20 歳代～40 歳代で多くなっています。



問12 子育てしやすい環境をつくるためには、どのような行政の支援があればよいと思いますか。

- ・「保育所などの預け先の施設の充実」が 58.5%(前回調査 69.4%)と最も多く、次いで、「子どもの人数に応じた経済的支援」が 36.2%(前回調査 48.4%)、「育児や住宅に対する資金貸与や補助支援」が 28.5%(前回調査 38.7%)、「子育てに関する相談・サポート体制の充実」が 26.1%(前回調査 21.0%)となっています。
- ・「保育所などの預け先の施設の充実」は 30 歳代以上で多く、「子どもの人数に応じた経済的支援」は 20 歳代、30 歳代、「育児や住宅に対する資金貸与や補助支援」は 30 歳代で特に多くなっています。

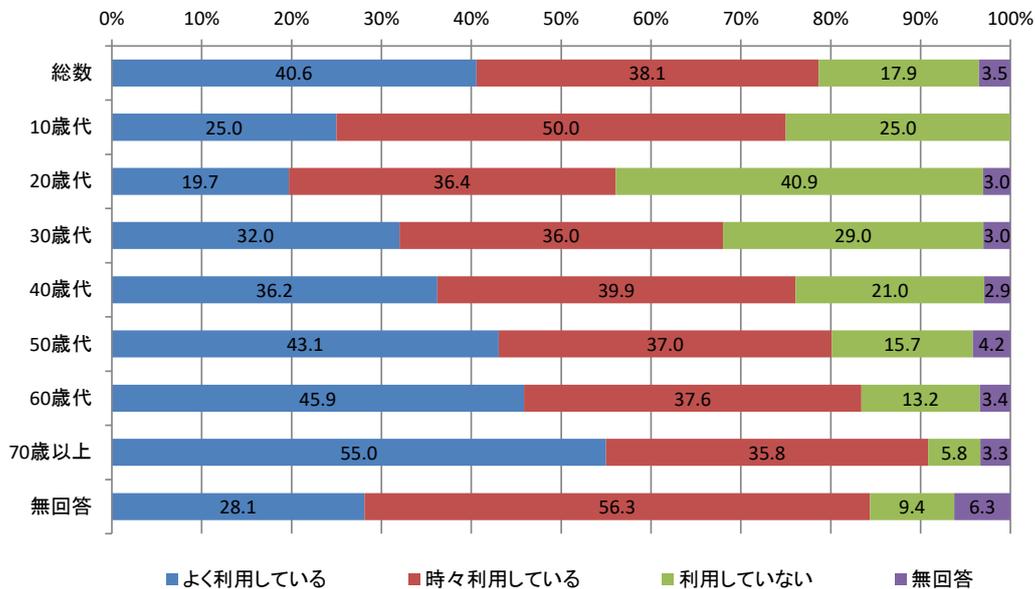


問13 市からの行政情報などの入手方法と今後の利用意向についておたずねします。

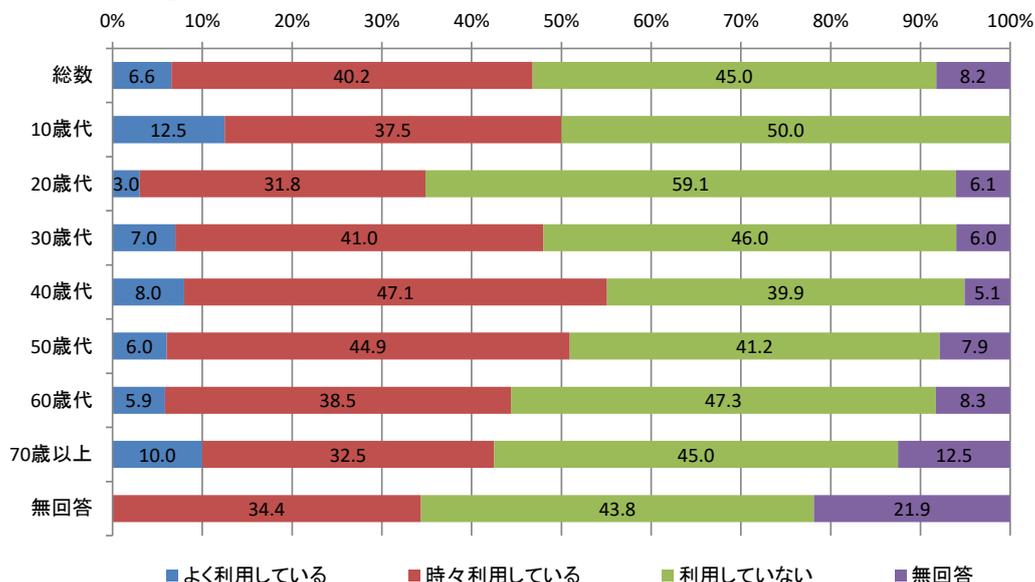
(1つに○)

- ・「よく利用している」と「時々利用している」をあわせた利用回答者は、「広報はびきの」が 78.7%と最も多く、次いで、「町内会(自治会)からの回覧板」が 56.5%、「羽曳野市ホームページ」が 46.8%となっています。「広報はびきの」は前回調査 78.4%と同程度、「町内会(自治会)からの回覧板」は前回調査 64.6%から約 8 ポイント減少しています。
- ・「広報はびきの」、「町内会(自治会)からの回覧板」は、年齢が上がるほど多くなっています。
- ・「羽曳野市公式フェイスブック」の利用回答者が 4.9%と最も少なくなっています。
- ・「羽曳野市公式 LINE」の利用回答者は、40 歳代、50 歳代が 4 割程度、その他の世代も 3 割程度の利用となっています。

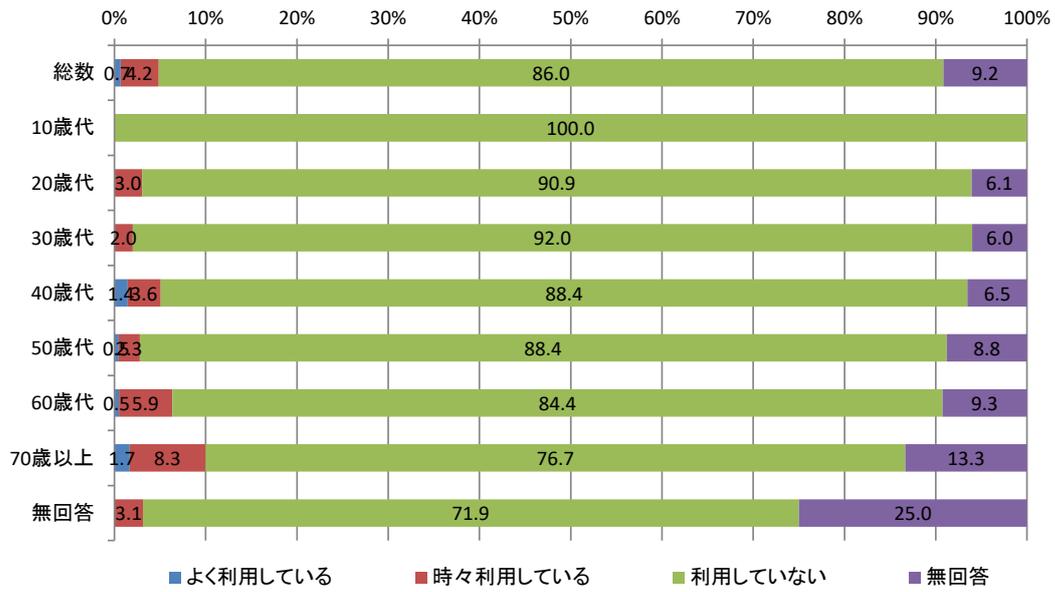
【広報はびきの】



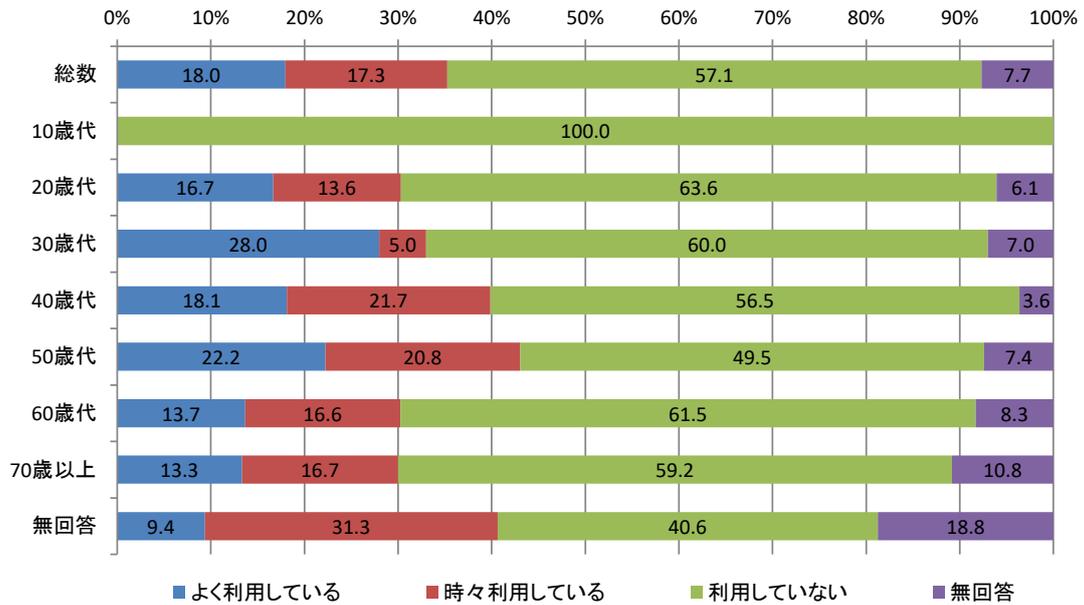
【羽曳野市ホームページ】



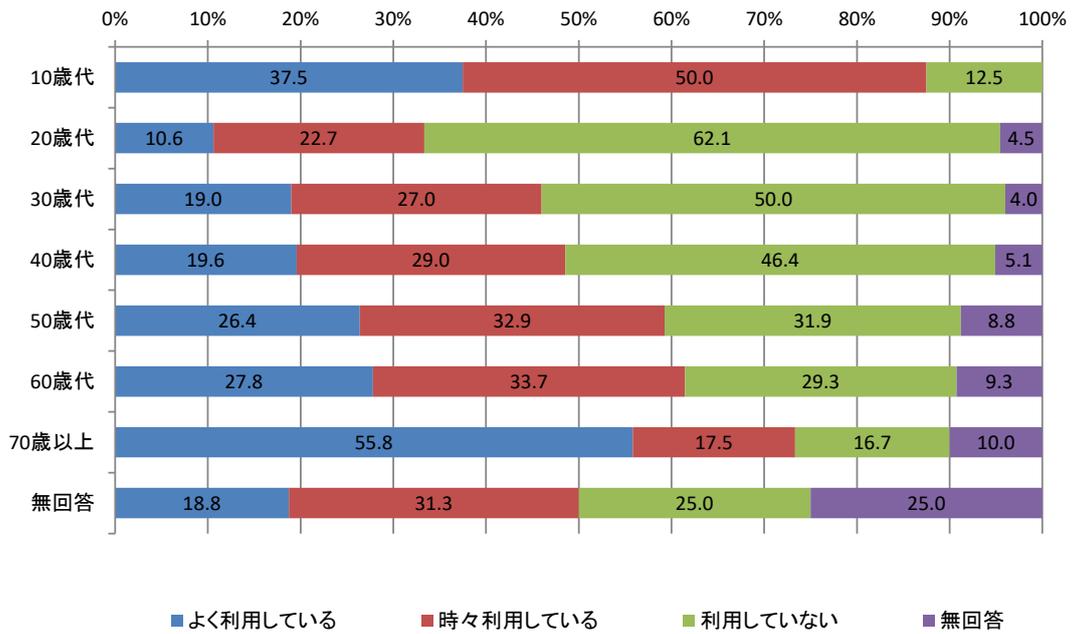
【羽曳野市公式フェイスブック】



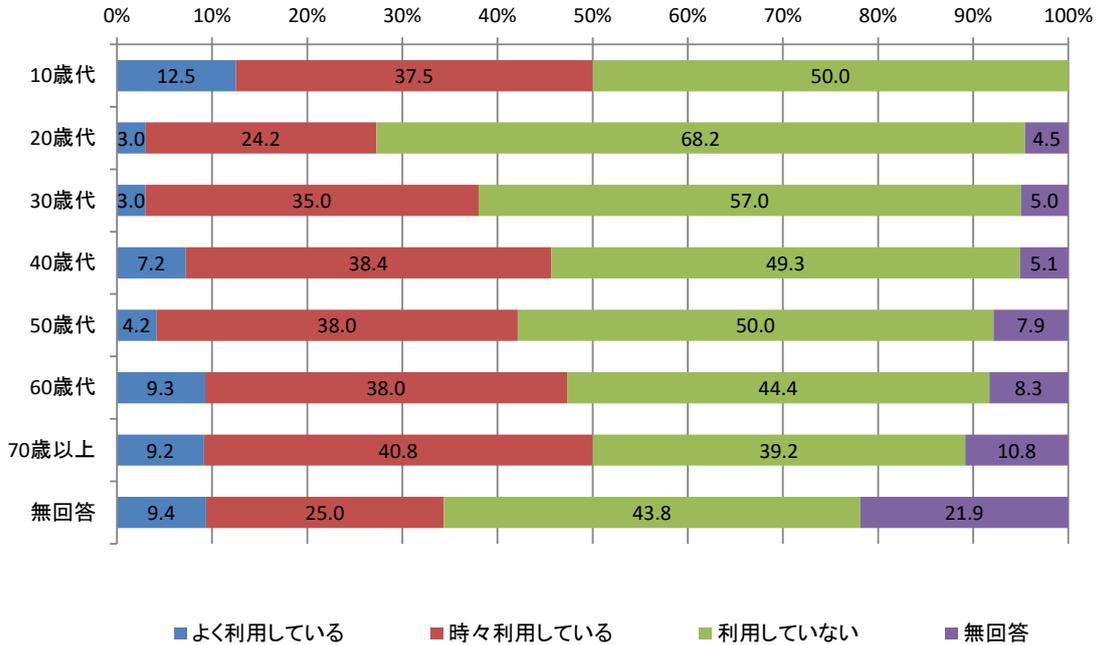
【羽曳野市公式 LINE】



【町内会(自治会)からの回覧板】

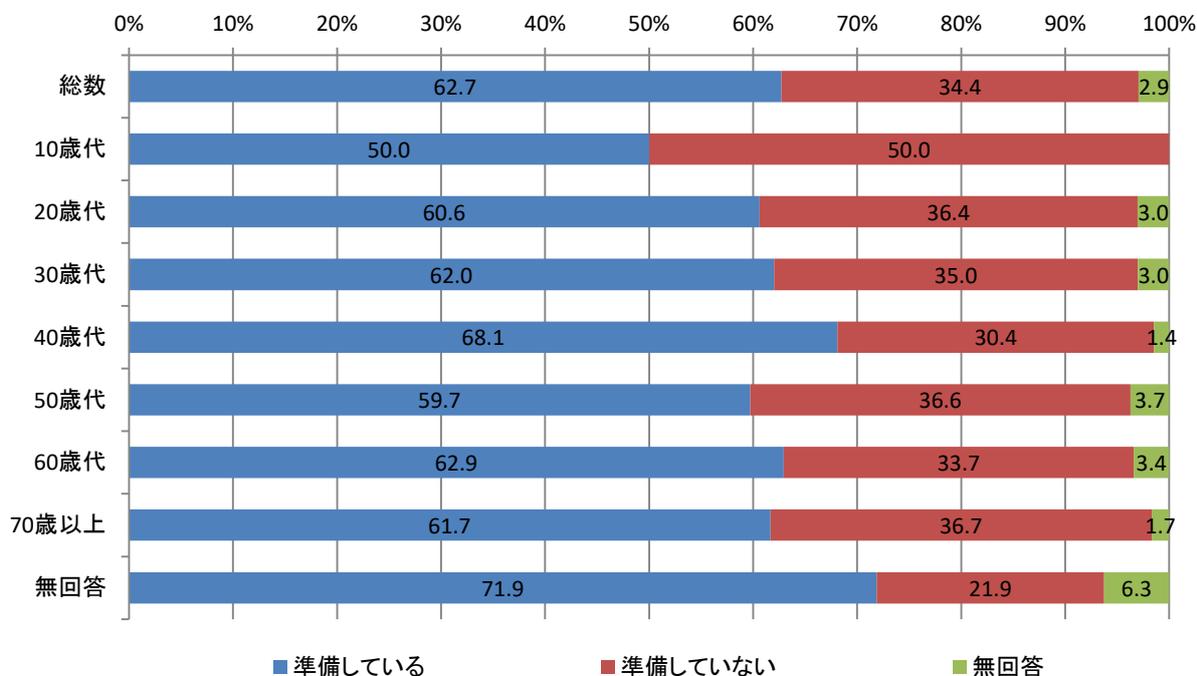


【市役所に直接聞く(電話・窓口など)】



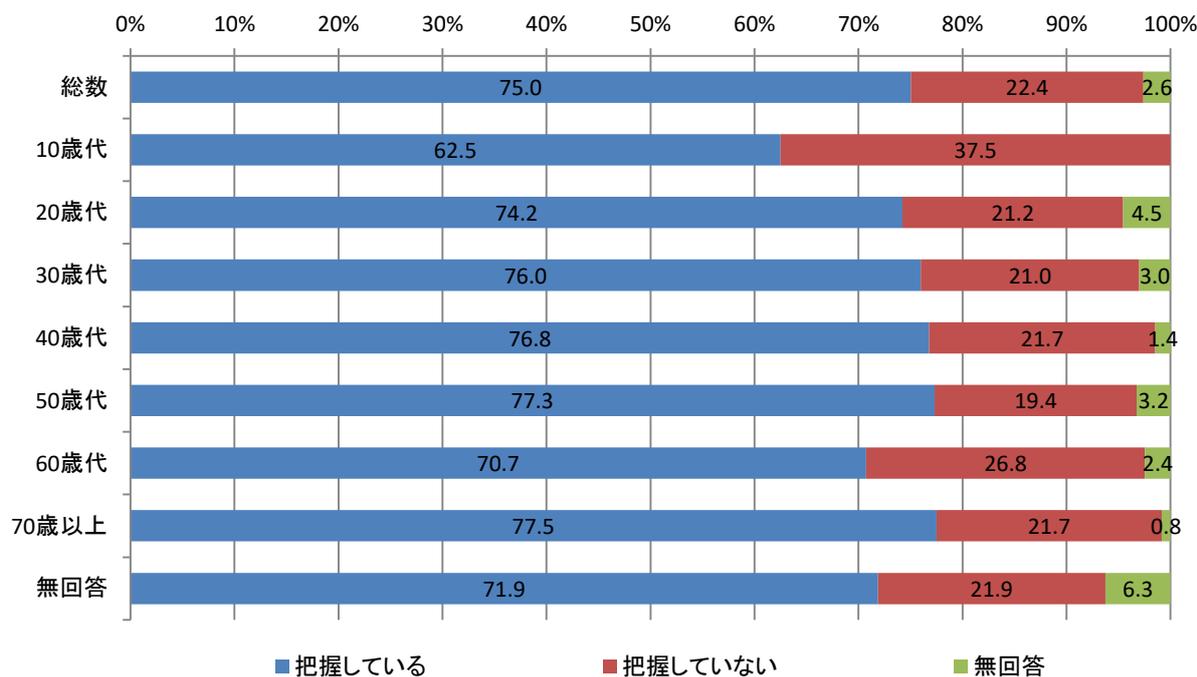
問14 地震や台風などの災害に備えて、あなたは非常時の持ち出し品や災害時の備蓄品を準備していますか。(1つに○)

- ・「準備している」が62.7%、「準備していない」が34.4%となっています。
- ・「準備している」は、40歳代が特に多くなっています。



問15 災害が発生した際に、どこの避難所に避難したら良いか、把握していますか。(1つに○)

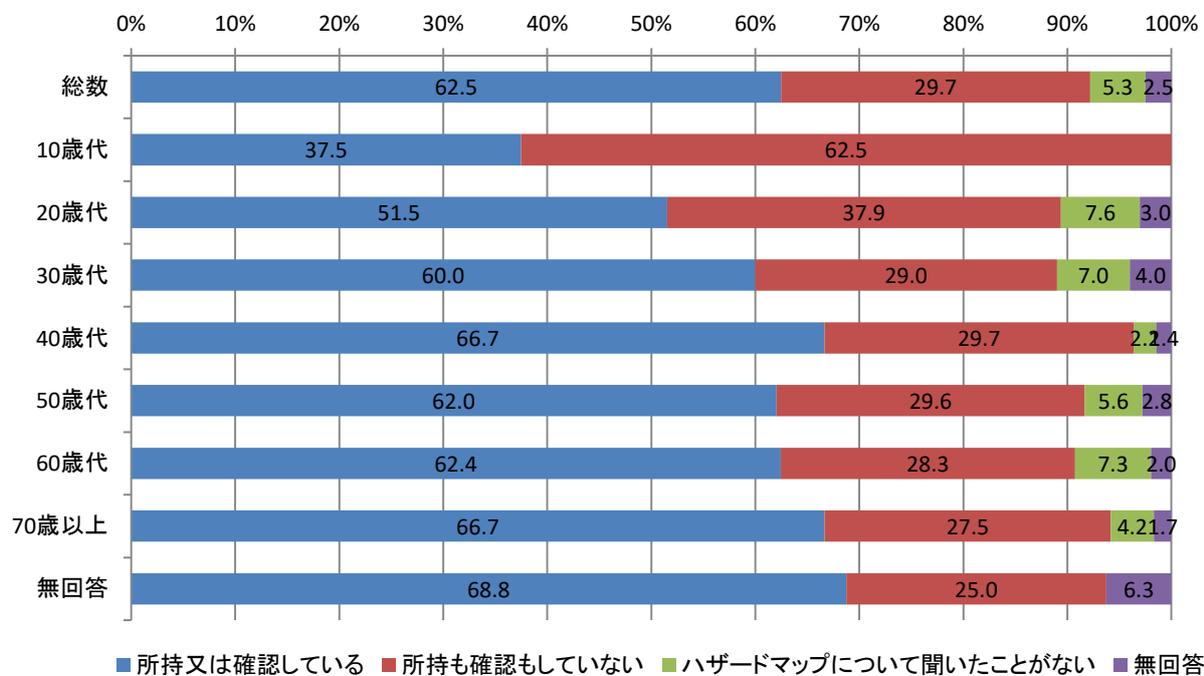
- ・「把握している」が75.0%、「把握していない」が22.4%となっています。
- ・「把握している」は10歳代を除いた世代で7割を超えています。



問16 ハザードマップを所持または確認していますか。

(1つに〇)

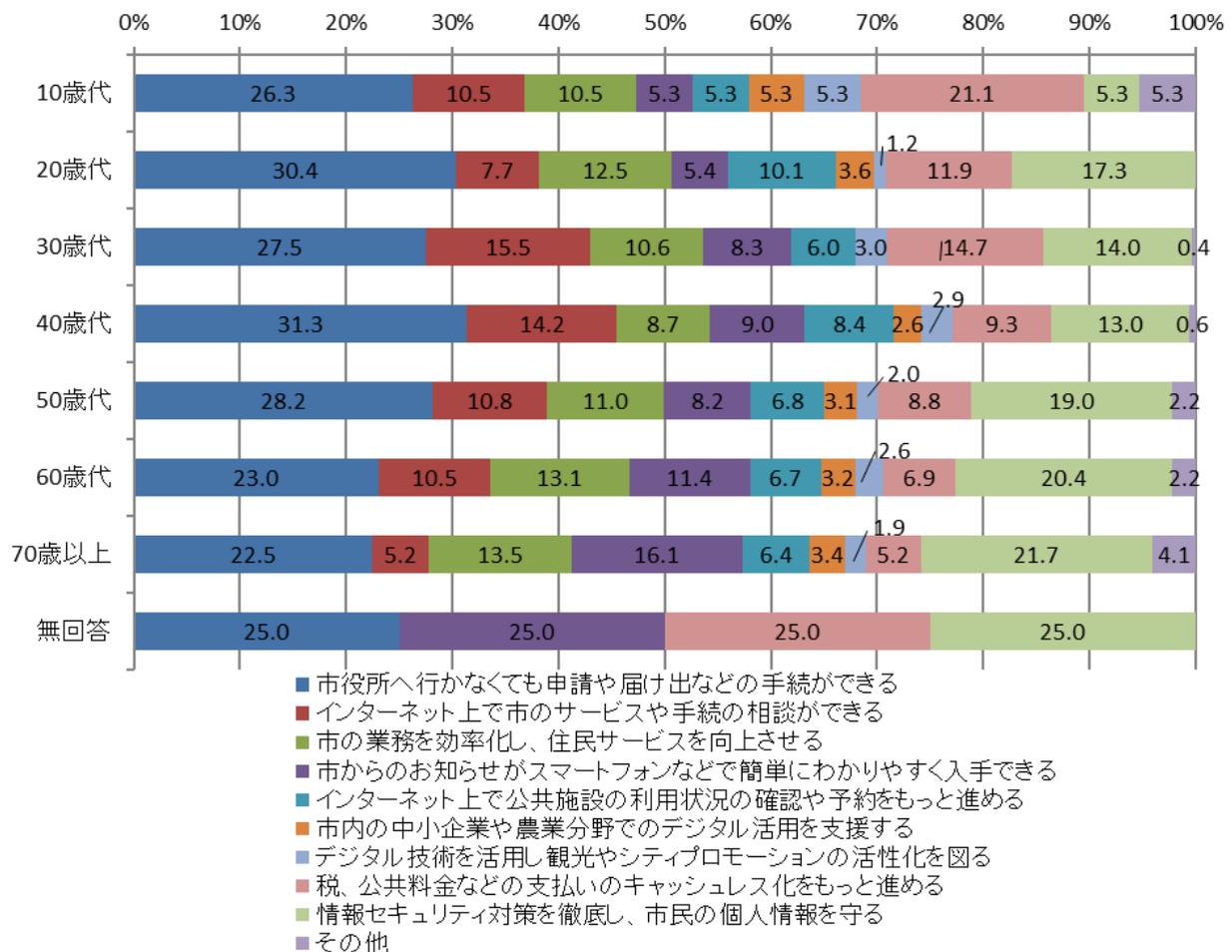
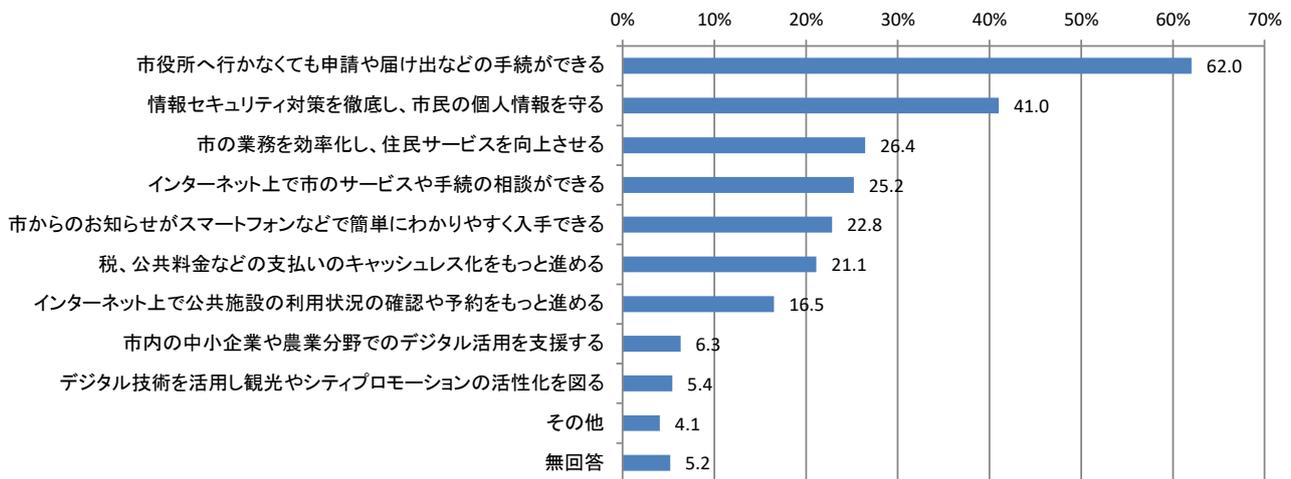
- ・「所持又は確認している」が 62.5%、「所持も確認もしていない」が 29.7%となっています。
- ・「所持又は確認している」40 歳代、70 歳代が比較的多く、年代が上がるほど多くなっています。



問17 地域社会のデジタル化が進むなかで、あなたが期待することは何ですか。

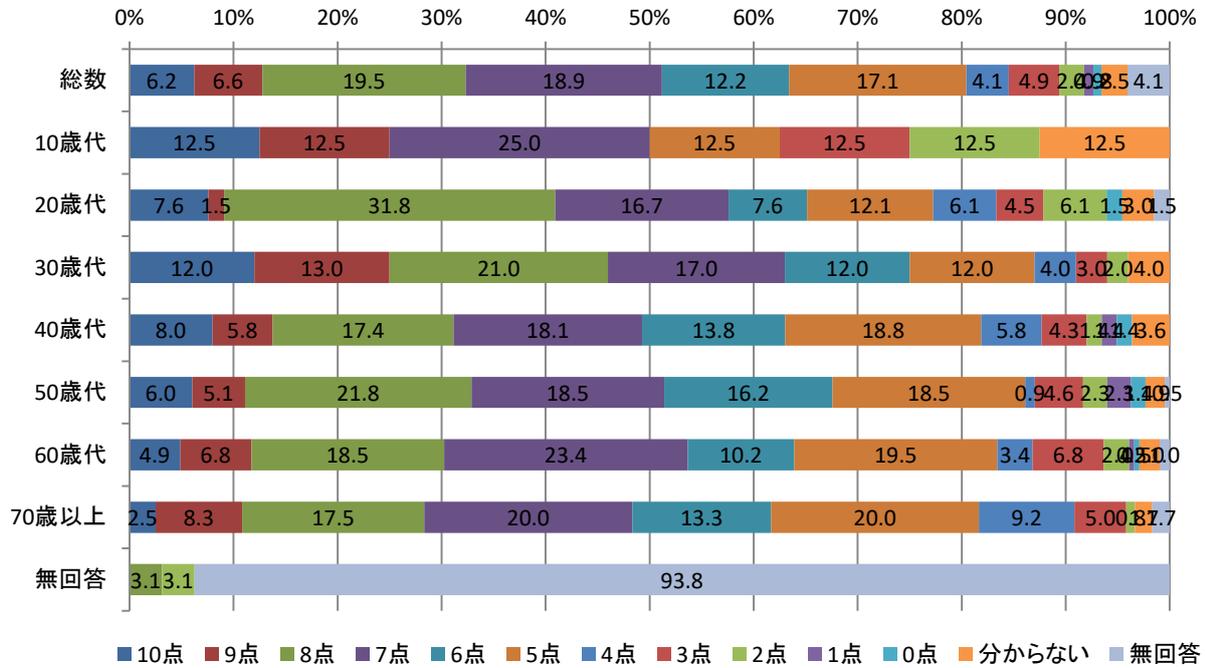
(3つ以内に○)

- ・「市役所へ行かなくても申請や届け出などの手続きができる」が 62.0%と最も多く、次いで、「情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る」が 41.05%となっています。
- ・「市役所へ行かなくても申請や届け出などの手続きができる」は 20 歳代～40 歳代、「情報セキュリティ対策を徹底し、市民の個人情報を守る」は 50 歳代以上で多くなっています。



問18 現在のあなたの幸せ度はどれくらいですか。「とても不幸(0点)」から「とても幸せ(10点)」の間で表すと、何点だと思いますか。(1つに○)

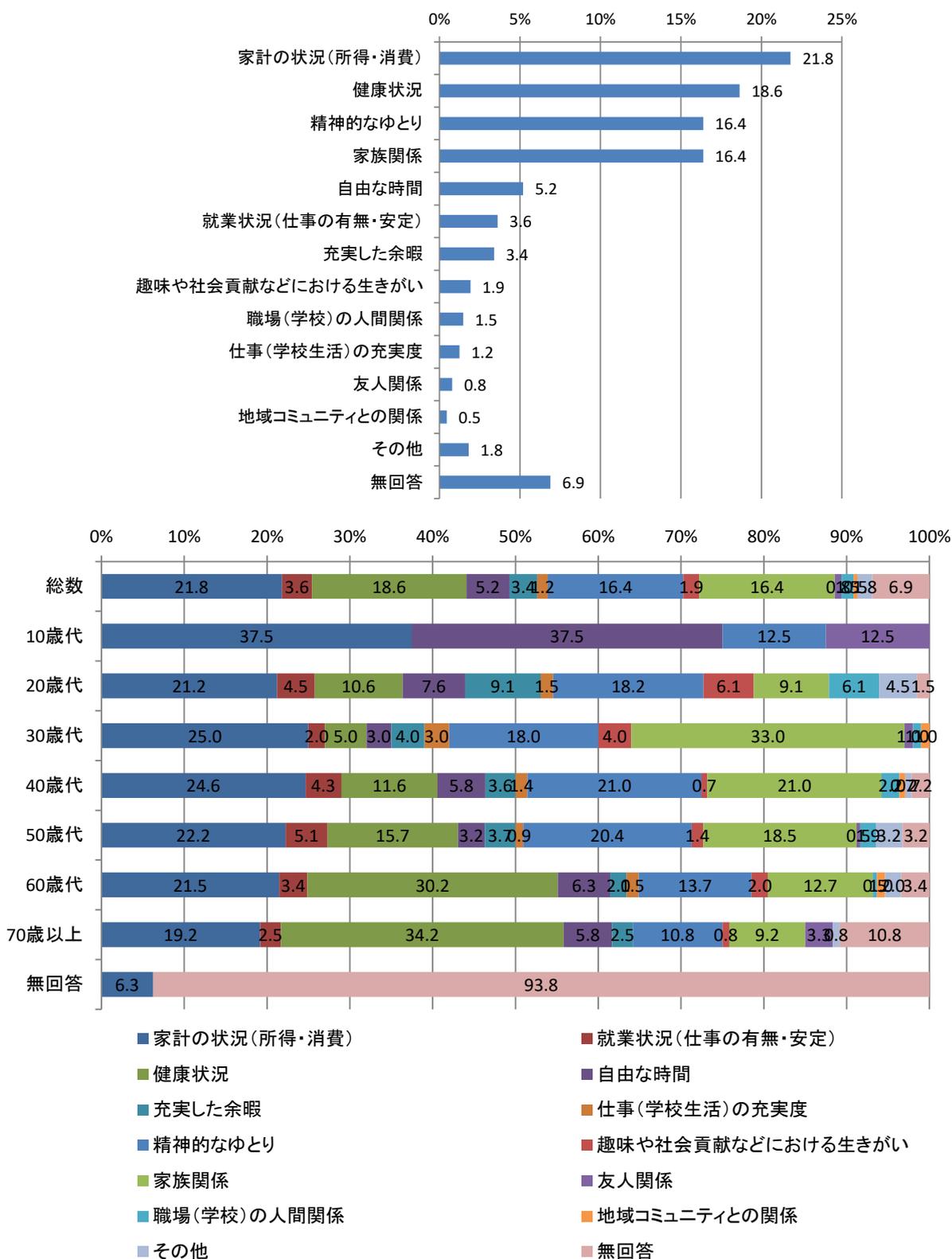
- ・幸せ度は「7点」と「8点」の割合が高く、7点以上は51.2%となっています。
- ・20歳代、30歳代は「7点以上」が約6割と他の年代より多くなっています。



問19 幸せ度を判断する際に重視したことは何ですか。

(1つに○)

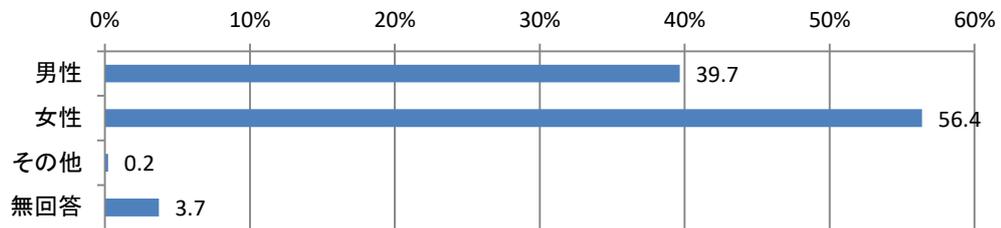
- ・「家計の状況(所得・消費)」が 21.8%と最も多く、次いで、「健康状況」が 18.6%、「精神的なゆとり」と「家族関係」がそれぞれ 16.4%となっています。
- ・20 歳代と 50 歳代は「家計の状況(所得・消費)」、「精神的なゆとり」、30 歳代は「家族関係」、40 歳代は「家計の状況(所得・消費)」、60 歳代以上は「健康状況」が特に重視されています。



問20 あなたの性別をお答えください。

(1つに○)

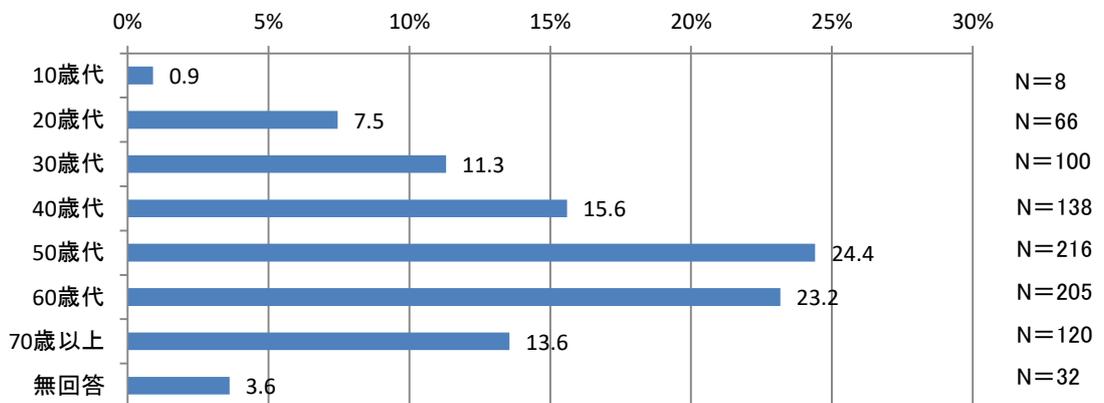
・「女性」が 56.4%、「男性」39.7%。



問21 あなたの年齢をお答えください。

(1つに○)

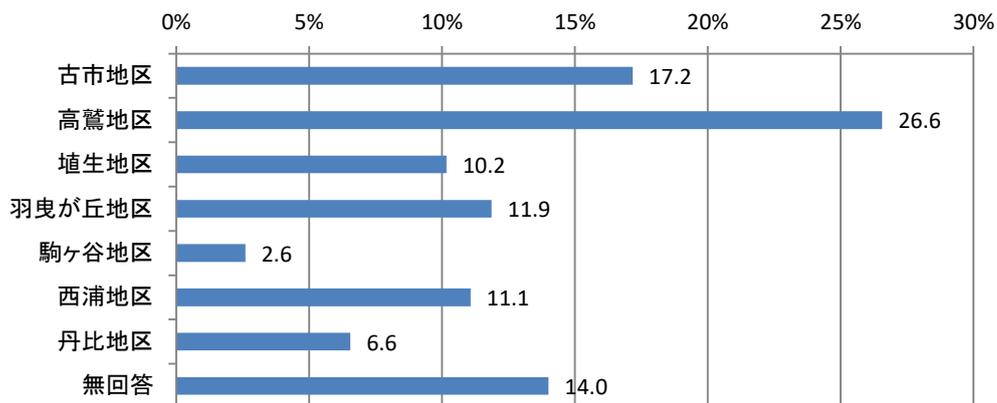
・「50 歳代」が 24.4%と最も多く、次いで「60 歳代」が 23.2%、これらの年代で約半数となっています。



問22 あなたがお住まいになられている地区をお答えください。

(1つに○)

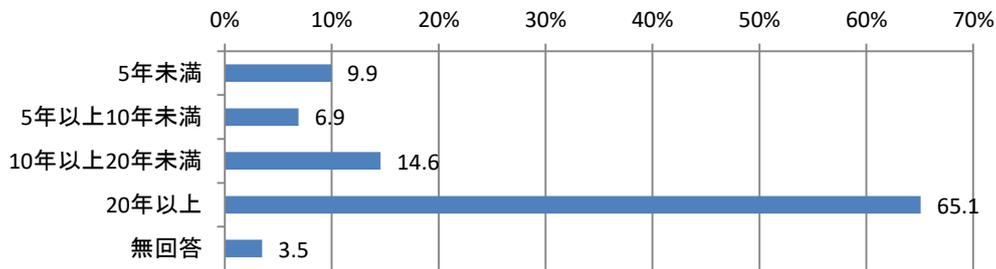
・「高鷲地区」が 26.6%と最も多く、次いで「古市地区」が 17.2%。



問23 あなたが羽曳野市にお住まいになって何年たちますか。

(1つに○)

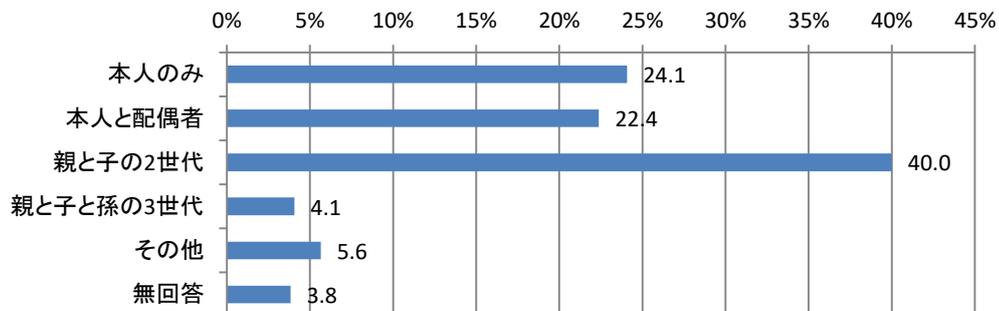
・「20年以上」が65.1%と突出して多くなっています。



問24 あなたが同居されている家族の構成をお答えください。

(1つに○)

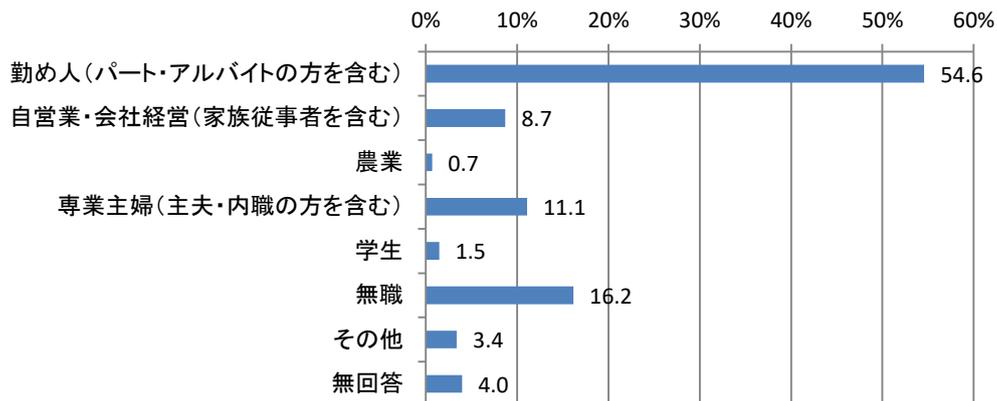
・「親と子の2世代」が40.0%、本人のみ(24.1%)と本人と配偶者(22.4%)で46.5%です。



問25 あなたのご職業をお答えください。

(1つに○)

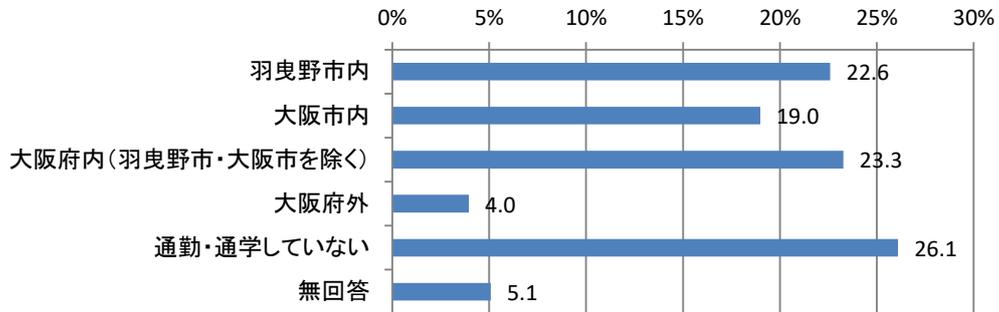
・「勤め人(パート・アルバイトの方を含む)」が54.6%と約半数。



問26 あなたの通勤・通学先は、どちらですか。

(1つに○)

・「通勤・通学していない」が 26.1%と最も多く、次いで「大阪府内(市内及び大阪市を除く)」が 23.3%、「羽曳野市内」が 22.6%。



問27 その他、何か意見があればご記載ください。(自由記述)

意見の要約

《交通・移動インフラ》

準急が止まらない地域もあり、電車の利便性をもっと向上させてほしいです。
駅からのバスの本数が少なく、アクセスが悪いため交通網の整備を求めます。
市内の移動がもっと便利になるように、シェアサイクルやコミュニティバスの導入を希望します。
駅前や商店街に自転車が無秩序に停められていて通行の妨げになっているので対策してほしいです。

《子育て・教育支援》

保育園や学童保育の数が足りないと感じるので、子育て支援の拡充を望みます。
地域で子どもを育てる意識がもっと広がるような取り組みを増やしてほしいです。
学校施設の老朽化やエアコン整備など、子どもたちの学びの場をより快適にしてほしいです。
家庭の経済状況に左右されず、学べる環境を支援する制度がもっとあると良いです。
学校や地域でのいじめ対策・居場所づくりに力を入れてほしいです。
地域での子ども食堂やフードパントリーのような居場所支援を広げてほしいです。

《地域活性化・まちづくり》

駅前ににぎわいがなくさびれているため、商店街やスーパーなどの集客施設を充実させてほしいです。
若者向けの飲食店やおしゃれな店が少ないため、地域に活気が出るようなお店を増やしてほしいです。
地域の祭りやイベントを復活させて、住民同士の交流を深めたいです。
音楽やアートイベントが増えると、若い人も参加しやすくなると思います。
地域の特産品を活かした観光振興やまちづくりの工夫があったら楽しいと思います。
駅周辺の再開発や景観整備を進めて、明るく安心して利用できる環境にしてほしいです。

《安全・防災・清掃》

歩道の側溝にフタがない箇所があり、転倒の危険があるため早急に対応してほしいです。
歩道や道路の整備が不十分な場所があるので、安全に歩けるよう改善してほしいです。
通学路や生活道路の危険箇所に照明やカーブミラーを増設してほしいです。
地域の防犯意識が薄れてきているので、防犯カメラの設置を進めてほしいです。
空き家や放置住宅の対策を強化して、治安や景観を改善してほしいです。
災害時の避難体制や防災用品の整備が不安なので、見直しを進めてほしいです。
防災無線や緊急情報の伝達がわかりづらいので、スマホや多言語対応も含めて強化してほしいです。
ゴミの不法投棄が目立つ場所があるので、地域での啓発や取り締まりを強化してほしいです。
ゴミ収集日や分別ルールの案内をもっとわかりやすくしてほしいです。
定期的な道路や側溝の清掃を行って、清潔な街づくりを進めてほしいです。

《福祉・医療・交流》

夜間や休日にも対応してくれる医療体制を整えてほしいです。
地域の医療機関が少ないと感じるので、診療所や休日診療所が充実すると安心です。
高齢者と子どもが交流できるような地域の居場所づくりを進めてほしいです。
高齢者向けの送迎サービスや外出支援の制度を充実させてほしいです。
高齢者が孤立しないよう、見守り活動や声かけ運動の支援があると良いです。
空き店舗を活用して、子どもや高齢者が立ち寄れる場所があると安心です。
スポーツ施設が足りず、健康維持のためにも運動できる場を増やしてほしいです。
閉鎖されたプールの代替となる公共運動施設が必要です。
高齢者が利用しやすいバリアフリーな健康施設が増えてほしいです。
公民館や集会所など地域の集まりに使える施設がもっと使いやすくなると良いです。
文化活動や市民サークルの発表の場があれば、住民が誇りを持って参加できると思います。
地域ごとに特色ある活動ができるよう、町会や自治会への支援を拡充してほしいです。
地域課題に若者が関わられるような仕組みがあれば、もっとまちに関心を持てると思います。